QNAP SYSTEMS, INC.

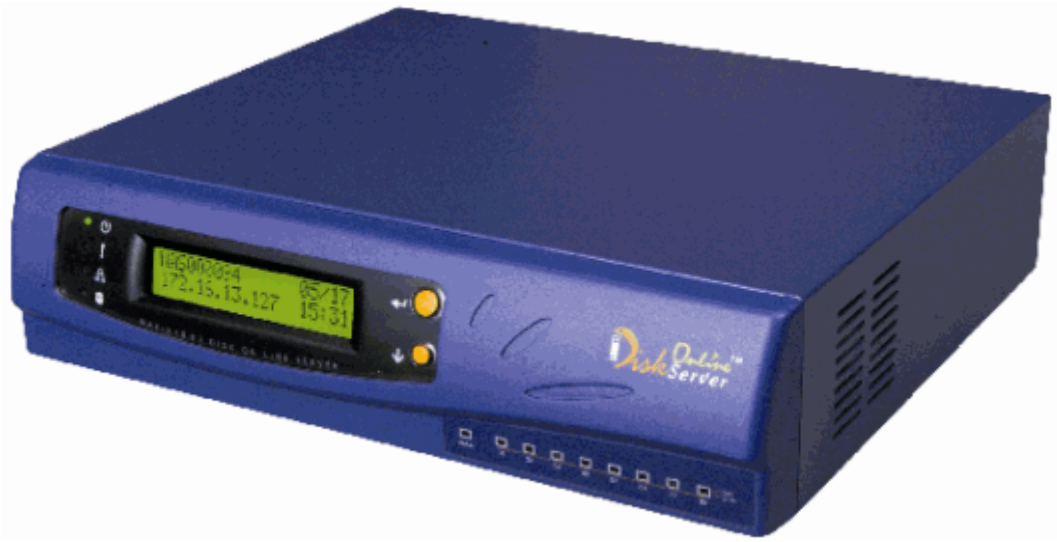
VioStor-220

ユーザー・マニュアル

VioStor-220

ネットワーク･レコーダー

ユーザー･マニュアル**(Version 1.0.0)**



©Copyright 2005. QNAP Systems, Inc. All Rights Reserved.

November 4, 2005

商標

Microsoft®, Windows® 及び Internet Explorer® はMicrosoft 社の登録商標です。その他のブランド、製品名は各商標を所有する会社または組織に帰属します。

保証の範囲

QNAP 社は、本製品を適切な用途において使用した場合に限り、製品の保証及び交換に応じます（製品の返品には応じられません)。また保証の範囲は製品の購入価格に限定されます。QNAP 社は告知することなしに、製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有します。

重要な注意事項

取扱説明書について
本製品を安全にお使いいただくため、まず取扱説明書を一読してください。

電源について
取扱説明書に指示された通りの電源を使用してください。

サービスについて
技術的にわからないことがある時はお尋ねください。本製品を分解すると、感電その他の危険があります。

注意
火気、電気的衝撃から避け、雨の当たる場所、湿度の高い場所に設置することは避けてください。また本製品の上に重量物を置かないでください。

索　引

Chapter 1. VioStor-220について **7**

1.1 主な仕様 ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**
1.2 付属品 ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**
1.3 システムの概要 ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**
1.4 要求仕様 ..... **エラー! ブックマークが定義されていません。**

Chapter 2. VioStor-220のインストール **10**

Chapter 3. **LCD**パネルの使用 **11**

Chapter 4. VioStor-220の管理 **14**

4.1 VioStor-220 管理ページへのアクセス 14
4.2 トップ・ページ 15
4.2.1 ライブ画面のボタン 16
4.2.2 E-mapのアップロード 19
4.3 録画再生 20
4.4 カメラ設定 23
4.4.1 カメラ名 25
4.4.2 IPカメラ設定 25
4.4.3 録画設定 26
4.4.4 録画スケジュール 27
4.5 システム設定 28
4.5.1 かんたん設定 *30*
4.5.2 システム設定 *35*
4.5.2.1 サーバー名 35
4.5.2.2 時間 36
4.5.2.3 言語設定 36
4.5.2.4 システム設定の表示 37
4.5.3 ネットワーク設定 *38*
4.5.3.1 WAN設定 39
4.5.3.2 LAN設定 42
4.5.3.3 ネットワーク・ファイル・サービス 44
4.5.3.4 DNSサービス 48

4.5.3.5 ネットワーク・プリンタ 49
4.5.3.6 ルーター・ファイアウォール設定 55
4.5.3.7 DDNSサービス 61
4.5.3.8 ネットワーク設定の表示 62

4.5.4 ディスク設定 *63*
4.5.4.1 ディスク・ボリュームの作成 64
4.5.4.2 ディスク・ボリュームの削除 65
4.5.4.3 ディスク・ボリュームの確認 66
4.5.4.4 ディスク・ボリュームの初期化 66
4.5.4.5 ディスク・ボリューム状態の表示 67

4.5.5 ユーザー管理 *68*
4.5.5.1 ユーザー 68
4.5.5.2 ユーザー・グループ 70
4.5.5.3 PDC権限設定 71
4.5.5.4 容量割り当て 72
4.5.5.5 バックアップ／リストア・ユーザー設定 72

4.5.6 ネットワーク共有 *73*

4.5.7 システム・ツール *76*
4.5.7.1 SNMP設定 77
4.5.7.2 アラート設定 78
4.5.7.3 再起動／シャットダウン 79
4.5.7.4 ハードウェア設定 79
4.5.7.5 UPS 80
4.5.7.6 システム・アップグレード 81
4.5.7.7 リモート・レプリケーション 82

4.5.8 ログ *85*
4.5.8.1 アクティブ・ユーザー 85
4.5.8.2 イベント・ログ 86
4.5.8.3 DHCPログ 86

Chapter 5. VioStor-220のフォルダ･アクセス. エラー! ブックマークが定義されていません。

5.1 録画ファイル・マネージャーの利用 87
5.2 Microsoft Windowsの利用 88

Chapter 6. VioStor-220のメンテナンス **89**

6.1 再起動／シャットダウン 89
6.2 管理者パスワードとネットワーク設定のリセット 90
6.3 ディスク・エラー 91
6.4 停電または異常終了 91

Appendix A. 録画ファイル・マネージャー **92**

Appendix B. ダイナミックDNSの登録 **.....**エラー! ブックマークが定義されていません。

Chapter 1. VioStor-220について

1.1 主な仕様

VioStor-220 は監視システムとストレージを統合し、モニタリングとデータ管理に特化した強力なネットワーク・レコーダーです。その主な仕様は、

- ネットワーク・カメラの映像を自動で録画
- ライブ画面でクリック＆センタリング機能を利用可能
- データを保護するストレージ管理機能
  - ✓ リモート・レプリケーション
  - ✓ RAID 0, 1, JBOD
- セキュアなルーター及びファイアウォール機能
- LCD パネルを使って簡単に情報の表示、設定が可能
- 全ての機能をネットワーク越しに、IE ブラウザで利用可能。
- 連続録画・スケジュール録画に対応。
- LAN ポート 8、WAN ポート 1 をビルトイン。

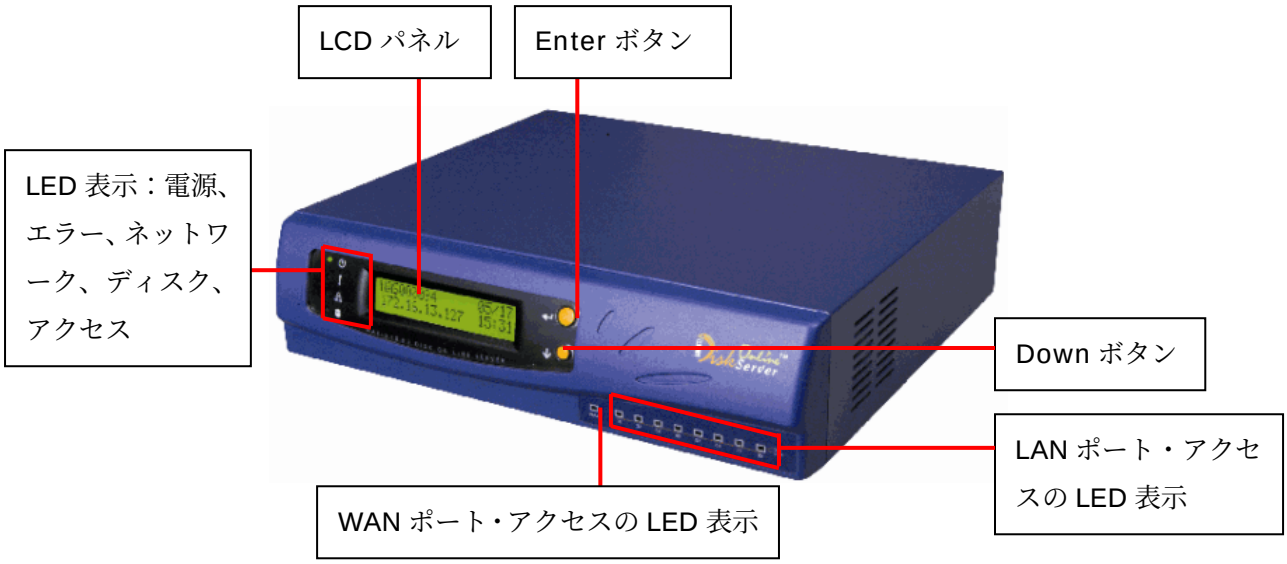
1.2 付属品

VioStor-220 のパッケージには、以下の付属品が含まれています：

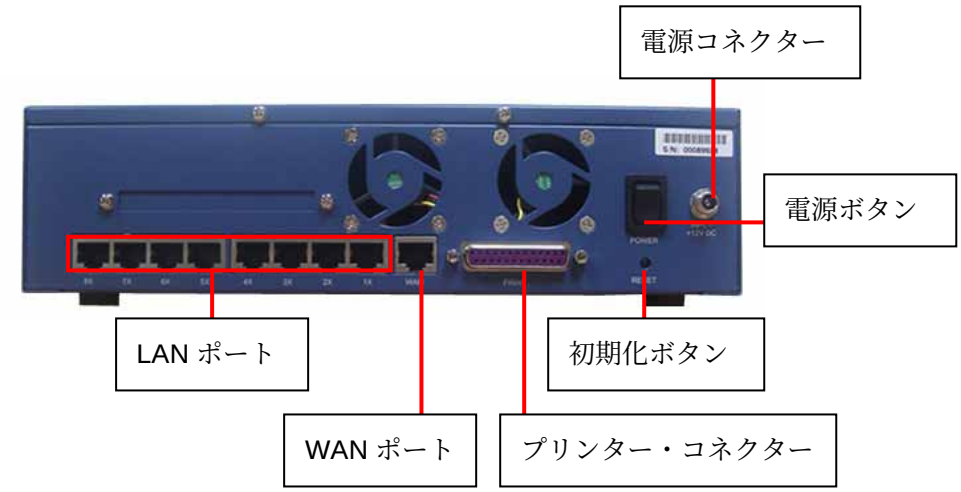
- VioStor-220 x 1
- 電源アダプター (Order No. 63PSA65U120DJL-001) x 1
- イーサネット・ケーブル (Order No. 32000-028500) x 1
- ハードディスク取り付けネジ x 8

1.3　システムの概要

フロント･ビュー



リア･ビュー



1.4　システム要求仕様

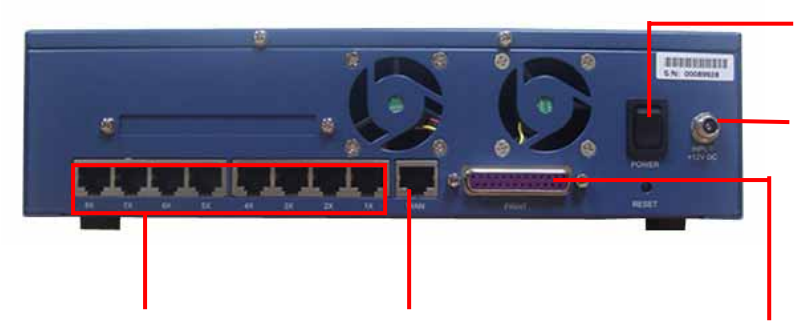
VioStor-220 を利用する PC に必要な仕様は、以下の通りです。

- OS: Windows XP/2000
- インターフェイス: 10/100 Mbps ネットワーク環境
- メモリ: 128 MB 以上
- プロトコル: TCP/IP
- ブラウザ: Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- DirectX 9.0

注意:仕様でわからないことがあれば、PC 購入元にお尋ねください。

Chapter 2. VioStor-220のインストール

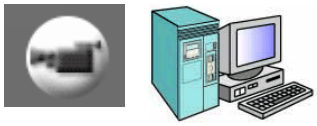
以下の手順に従い、VioStor-220 の準備を行います。



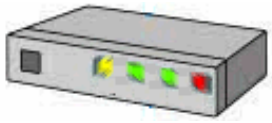
e. 電源を入れます。

d. 電源アダプターを接続します。

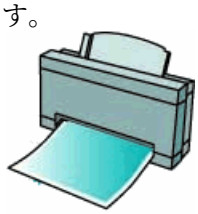
b. IPカメラ#*とPCをVioStor-220のLANポートに接続します。



a. WAN ポートにルーター／ハブ／スイッチを接続します。



c. プリンター共有機能を用いるのであれば、プリンターと VioStor-220 を接続します。



IP カメラは VioStor-220 ではなく、同一ネットワーク上のルーター／ハブ／スイッチに接続しても構いません。

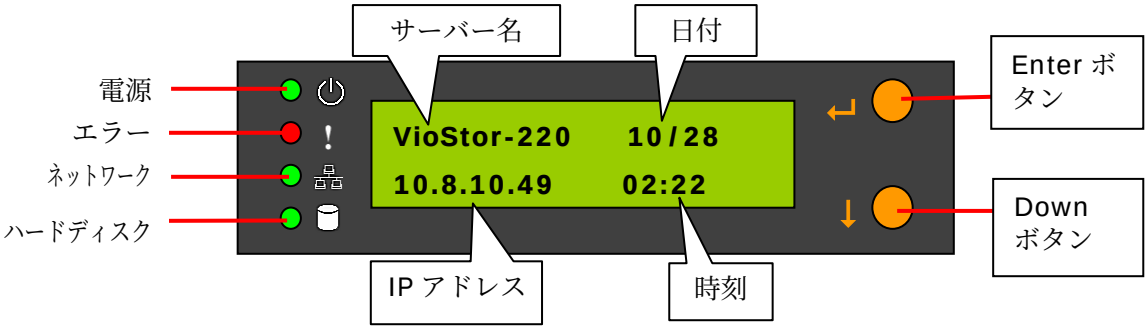
***** VioStor-220 は Panasonic BB 及び BL シリーズのネットワーク・カメラにのみ対応しています。

重要な注意: VioStor-220 を使用する前に、ハードディスクをフォーマットし、ディスク・ボリューム設定を行っておきます。

ハードディスクのフォーマットが完了していないと、VioStor-220 は正常に機能しません。VioStor-220 を再起動することでシステムをリカバーできます。詳しくは Chapter 4.5.4 を参照してください。

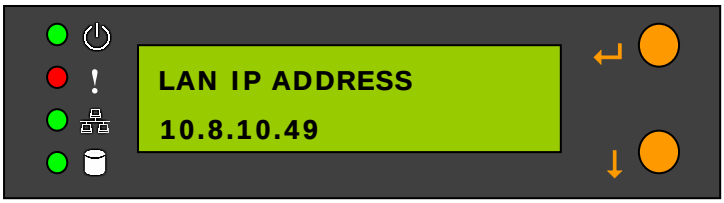
Chapter 3. ＬＣＤパネルの使用

VioStor-220 が起動すると、LCD パネルに以下の情報が表示されます。

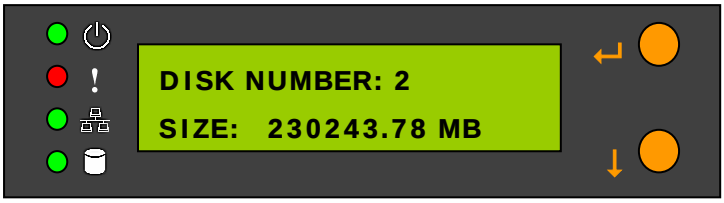


IPアドレス、システム、ディスク情報のチェック

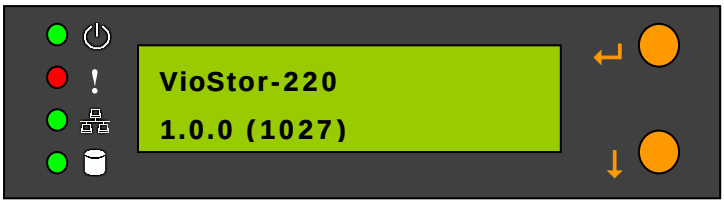
Down ボタンを押すと、VioStor-220 のプライベート IP アドレスが表示されます。VioStor-220 の LAN ポートに接続している PC は、この IP アドレスで VioStor-220 にアクセスできます。



もう一度 Down ボタンを押すと、利用可能なディスク・スペースが表示されます。表示されるディスク・サイズは搭載されたハードディスク容量の合計であり、実際に利用できる容量と異なる場合があります。RAID 1 構成を取っていれば、実際に使用できるディスク容量は表示される数値より小さくなります。



さらにもう一度 Down ボタンを押せば、型式番号とバージョンが以下のように表示されます。



システム･セットアップ機能

- システム･ページの表示
  a. Enter ボタンを 2 秒以上押し続ければ、システム・ページが表示されます。
  b. オプションを選択する時は Down ボタンを押します。
  c. 表示されたオプションを選択する時は Enter ボタンを押します。

- ネットワーク設定
  ネットワーク設定メニューでは、Down ボタンを押すことで DHCP か固定 IP を選択できます。
  a. DHCP—IP アドレスを自動で取得します。
     VioStor-220 に対し、DHCP サーバーから自動で IP アドレスが割り振られます。
  b. 固定 IP—IP アドレスを固定的に割り振ります。
     Press Enter button to select STATIC IP and complete the following steps:
     - ✓ SET STATIC IP
       Down ボタンを押して IP アドレスを設定します (Down ボタンを押すことで 0~25 の数値を選択できます)。次の数値を選択する時は Enter ボタンを押します。
     - ✓ SET NETMASK
       上記と同じ手順でサブネット・マスクを設定します。
     - ✓ SET GATEWAY
       上記と同じ手順でゲートウェイを設定します。
     - ✓ SELECT STATIC IP
       Down ボタンを押して YES または NO を選択し、Enter ボタンで決定します。NO を選択すると、ネットワーク設定メニューに戻ります。
     - ✓ RESTART SYSTEM
       Down ボタンを押して YES または NO を選択します。YES を選択すると、システムの再起動を行います。

- シャットダウン
  Down ボタンを押して POWER DOWN を選択し、Enter ボタンを押すと VioStor-220 をシャットダウンできます。

- システム再起動
  Down ボタンを押して REBOOT SYSTEM を選択し、Enter ボタンを押すと VioStor-220 を再起動できます。

- EXIT
  Enter ボタンを押して EXIT を選択すると設定画面に戻ります。

VioStor-220のネットワーク設定デフォルト値

工場出荷時の設定では、VioStor-220 は DHCP プロトコルによってインターネットに接続します。お使いになるインターネット環境が DHCP プロトコルではない場合、WAN 設定を変更してインターネットに接続できるようにする必要があります。必要な情報をインターネット・サービス・プロバイダー（ISP）またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

DHCP プロトコルがサポートされていない時、VioStor-220 は以下のデフォルト値を使用します。

IP Address: **192.168.0.1**
Subnet Mask: **255.255.255.0**

Chapter 4. VioStor-220の管理

VioStor-220 及び他のハードウェアのインストールが終わり、ネットワークに接続すれば、ブラウザを使って VioStor-220 へのアクセスが可能になります。Microsoft Internet Explorer 5.5 以降のブラウザに対応しています。推奨は Microsoft Internet Explorer 6.0 です。

4.1 VioStor-220管理ページへのアクセス

VioStor-220 にアクセスするため、IE ブラウザを起動して VioStor-220 の IP アドレスを入力します。必要な IP アドレスは LCD パネルで参照できます。ログインするためのユーザー名とパスワードは次の通りです。

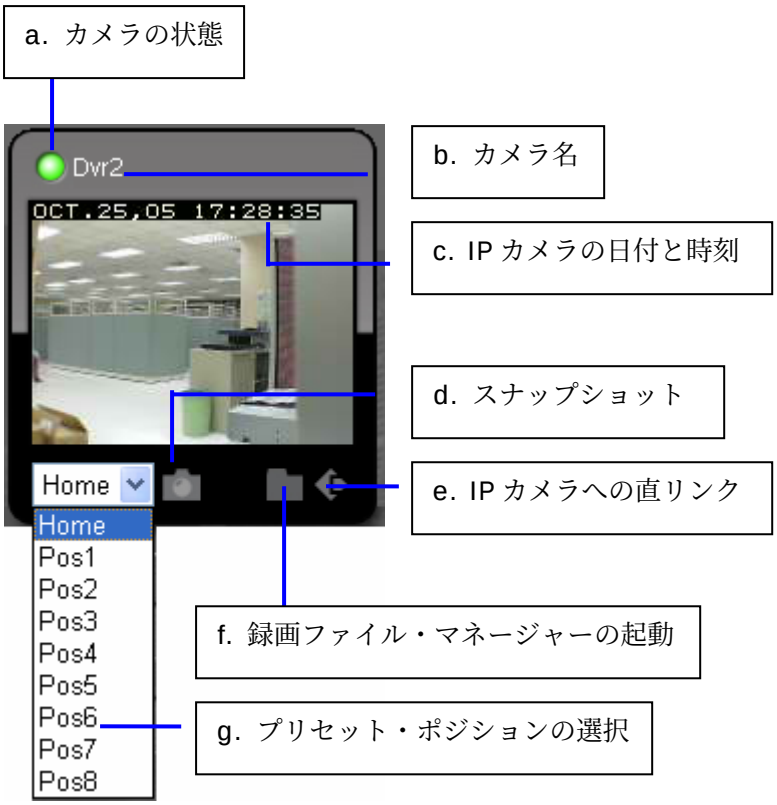
デフォルト・ユーザー名: **administrator**
パスワード: **admin**

注意: VioStor-220 を使用する前に、IP カメラに必要な ActiveX をダウンロードしてください。同様に IE ブラウザのレジストリを変更する必要があります（かんたん設定ガイドを参照してください）。

4.2　ライブ画面

VioStor-220 へのログインに成功すると、ライブ画面（トップ・ページ）が表示されます。表示言語を英語、中国語、日本語の中から選択してください。ライブ画面では、登録された IP カメラのライブ映像のモニタリング（最大 4 チャンネル）、及び操作を行えます。このページから**録画再生**、**IPカメラ設定**、**フォルダ･アクセス**、**システム設定**を選択できます。また**Eマップ登録**機能を使うことで、どのカメラがどこに設置しているかを画面右上に表示することが可能です。

4.2.1 ライブ映像スクリーン上のボタン



a. カメラの状態: 緑の時、カメラのモニタリングができている状態です。赤なら、録画を行っている状態です。灰色の時は、該当カメラは使用できない状態にあります。
b. カメラ名: IP カメラ設定により、カメラ名を変更することができます（Chapter 4.4 参照)。
c. IP カメラの日付と時刻: IP カメラの日付と時刻が表示されます。表示方法については、IP カメラのマニュアルを参照してください。

d. スナップショット: ライブ映像をスナップショット撮影できます。表示された画像を右クリックして「名前を付けて画像を保存」を選択すれば、ローカル PC に画像を保存できます。

e. IP カメラへの直リンク: IP カメラに直接アクセスします。

f. 録画ファイル・マネージャーの起動: 録画ファイルを管理する web ページにアクセスします（Chapter 5.1 参照）。

g. プリセット・ポジションの選択: ドロップダウン・メニューからプリセット・ポジションを選択することで、あらかじめ登録しておいたプリセット・ポジションへカメラを向けることが可能です。プリセット・ポジション登録方法は、IP カメラのマニュアルを参照してください。

h. クリック＆センタリング機能*: ライブ映像を直接左クリックすることでカメラのパン・チルトを操作したり、右クリックでズームすることができます。

*この機能は IP カメラに完全に依存します。詳しくは IP カメラのマニュアルを参照してください。

ライブ画面上の表示

a. 正常表示: IP カメラ設定が正しく行われ、ネットワーク接続が確立されれば、ライブ映像スクリーン上にライブ映像が表示されます。

b. エラー表示: ネットワークに障害が発生した、または IP カメラがハングアップして 1 分以上回復しなかった時は、ライブ映像表示部に このアイコンが表示されます。状態が回復すれば、30 秒後に自動的にライブ映像が表示されます。

c. カメラ登録なし: IP カメラの設定がない時は、ライブ映像表示部に このアイコンが表示されます。

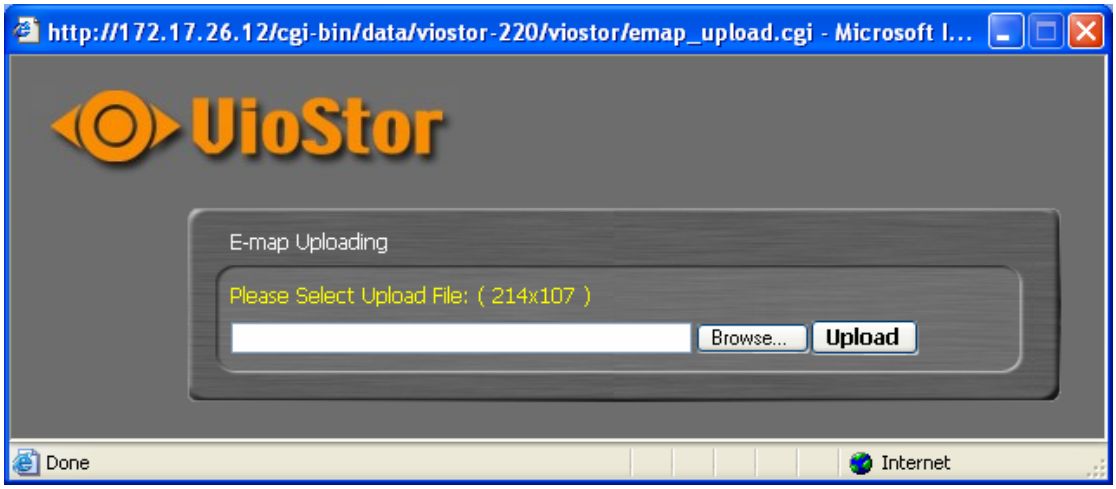
IP カメラとの接続が確立した時だけ、この部分にボタンが表示されます。

4.2.2 Eマップのアップロード

IP カメラの位置を記載した E マップを VioStor-220 にアップロードすることができます。E マップをアップロードするには、ライブ画面のEマップ･アップロードをクリックします。

アップロードする画像ファイルを選択し、アップロードをクリックします。画像ファイルは事前に 214x107 サイズで作成しておきます。それ以外のサイズの場合、自動で拡大・縮小されます。使用できる画像フォーマットは JPG または GIF です。

アップロード後、再読み込みボタンを押すと新しい E マップが反映されます。



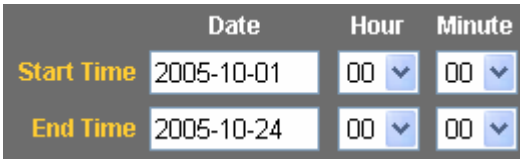
4.3　録画再生ページ

録画再生機能により、VioStor-220 上で録画ファイルの検索及び再生を行うことができます。ライブ画面の**録画再生**をクリックして録画再生ページを表示します。

ライブ画面ページに戻るには、 このアイコンをクリックしてください。

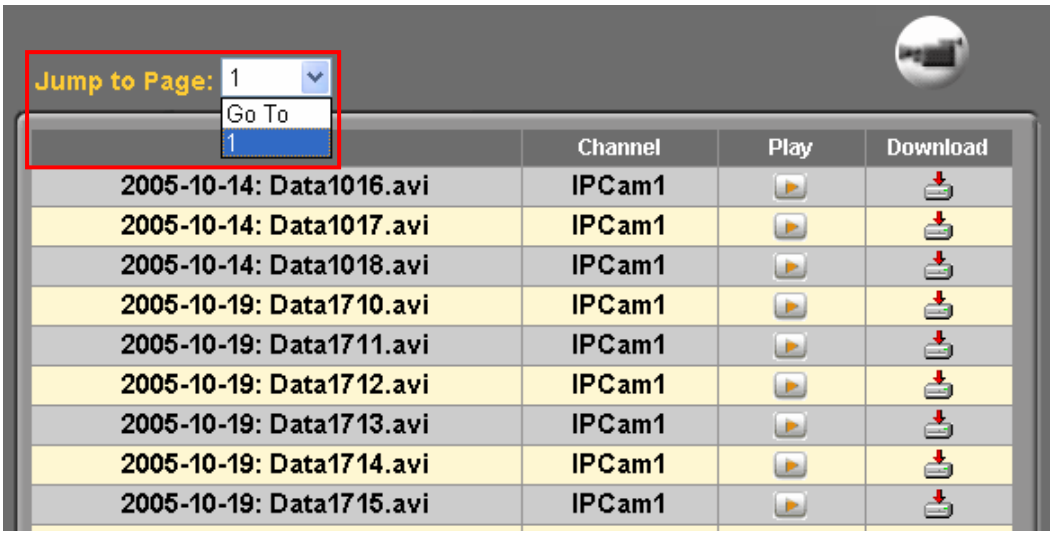
以下の方法で録画ファイルを検索します。

1. 開始時間の日付欄をクリックして日付を選択し、時間と分を選びます。終了時間も同様にして設定します。



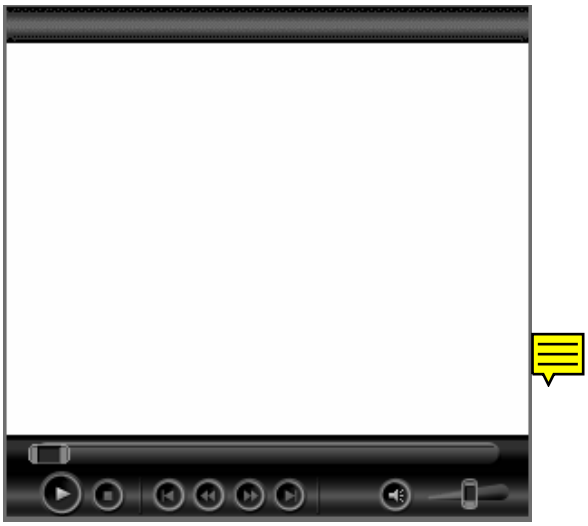
2. カメラ番号を選び、 このボタンをクリックします。

3. 右側に検索結果が表示されます。このアイコン をクリックすると再生が始まります。またこのアイコン をクリックすると PC にファイルをダウンロードします。検索結果が 1 ページに収まりきらない時は、複数ページにまたがって表示します。プルダウン・メニューで指定のページを表示できます。



注意：このアイコン をクリックした後は、IE ブラウザの設定に従った動作を行うため、録画ファイルの再生を始めることがあります。その場合はこのアイコン を右クリックして、「対象をファイルに保存」を選びます。

4. 再生するファイルを選択すると、左側のプレイヤー上で再生が始まります。

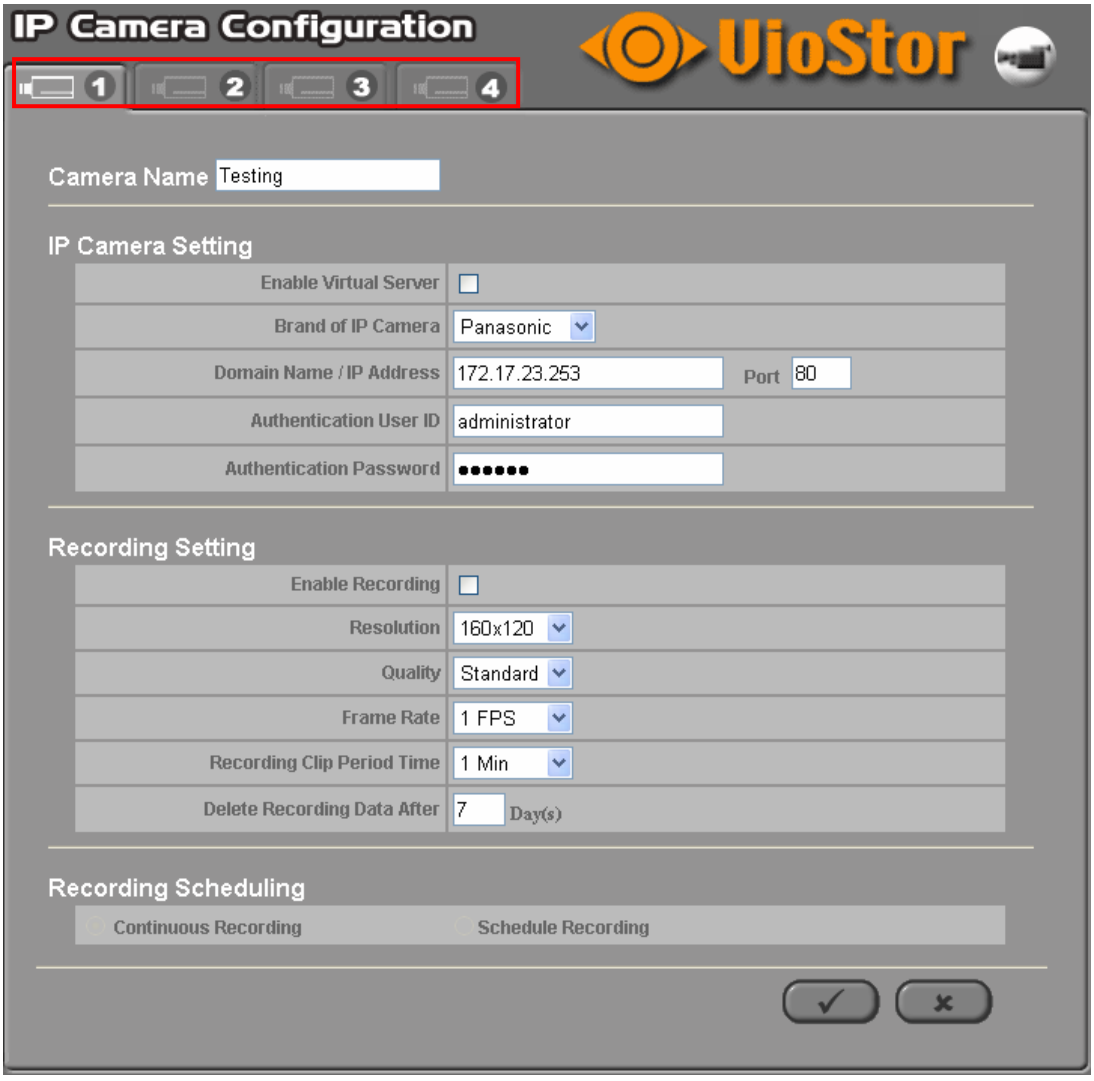


5. このアイコン をクリックすると、PC へのダウンロードが始まります。

4.4 IPカメラ設定

ライブ画面のIPカメラ設定をクリックすると、IP カメラの設定ページが表示されます。

設定したいカメラ番号のタブを選びます。ライブ画面に戻る時は、画面右上の このアイコンをクリックしてください。



4.4.1 カメラ名

任意のカメラ名を入力します。

4.4.2 IPカメラ設定

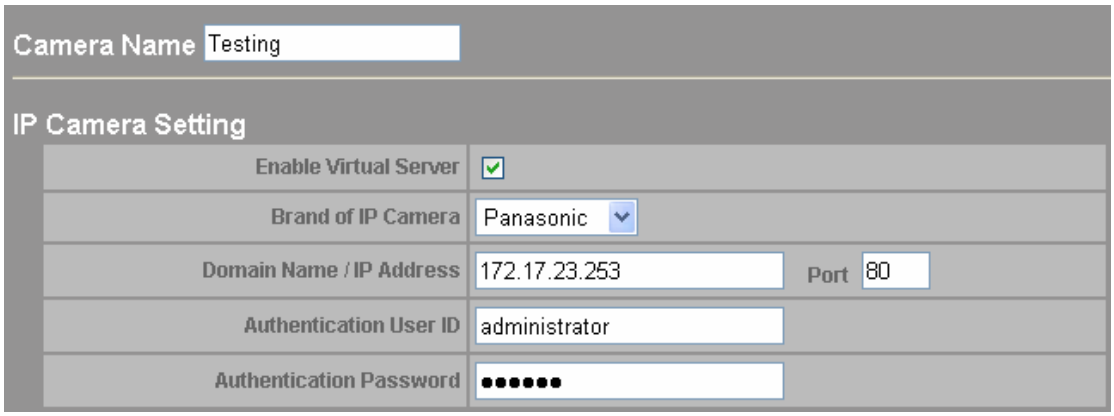
- ✓ バーチャル・サーバ機能: IP カメラを VioStor-220 の LAN ポートに接続している時、VioStor-220 の IP アドレスを使って IP カメラにアクセスすることができます。VioStor-220 は自動で IP カメラに対してポートマッピングを行います。カメラ 1 はポート 81、カメラ 2 はポート 82、カメラ 3 はポート 83、カメラ 4 はポート 84 になります。

- ✓ メーカー選択: IP カメラ・メーカーをドロップダウン・メニューから選択します。

> 注意：VioStor-220 は Panasonic の BB 及び BL シリーズのネットワーク・カメラにのみ対応しています。ファームウェアのバージョンアップにより、他社の IP カメラにも対応します。

- ✓ ドメイン名または IP アドレス: カメラのドメイン名または IP アドレス及びポート番号を入力します。

- ✓ 管理者ユーザーID&パスワード: IP カメラにログインするために必要なユーザーID とパスワードを入力します。



4.4.3 録画設定

録画を行うためには、**録画実行**にチェックを入れる必要があります。

- ✓ 解像度: 録画サイズを次から選択します—640x480、320x240、160x120。

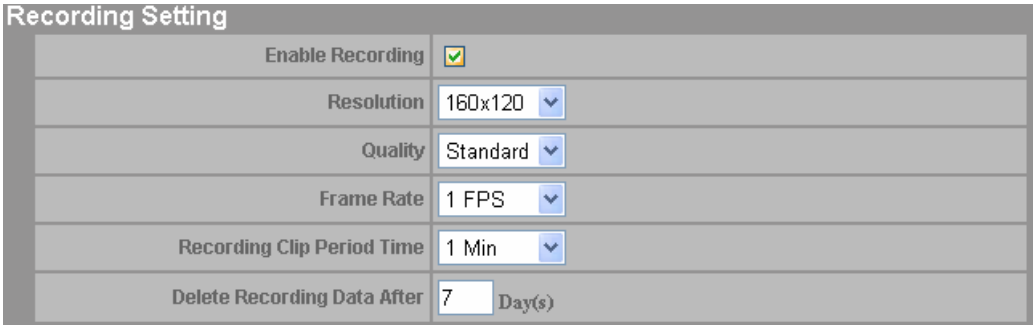
- ✓ 画質: 録画画質を次から選択します—standard（標準）、motion（動き優先）、clarity（画質優先）。

- ✓ フレームレート: 録画フレームレートを設定します。Full、5 FPS、3 FPS、2 FPS、1 FPS から選択できます。なお、実際に録画できるフレームレートはネットワークの状態に影響されます。

- ✓ 1 ファイルの録画時間: 1 ファイルの録画時間を選択します。1 分、2 分、3 分、5 分、10 分、15 分から選択できます。

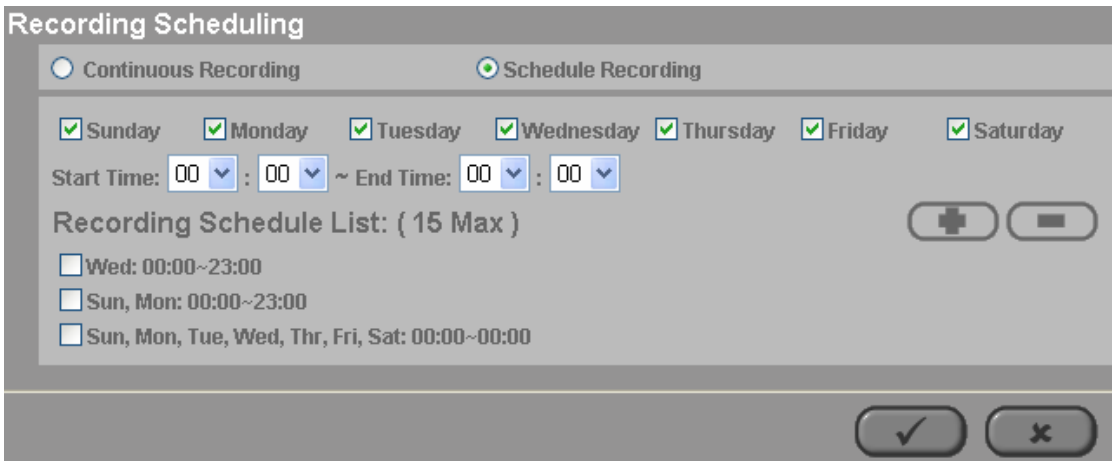
- ✓ 録画ファイル保存期間: VioStor-220 に録画ファイルを残しておく期間を**日数**で入力します。最短は3**日間**です。設定が 3 日以内の時は、自動的に 3 日になります。ディスク容量に余裕を持たせた設定を行ってください。設定した期間が経過すると、古い録画ファイルは自動で削除されます。例えば、録画ファイル保存期間を 7 日間と設定した場合、8 日目には録画を開始した最初の日の録画ファイルが削除され、代わりに 8 日目の録画ファイルが保存されるようになります。

> **注意**：ディスク容量が一杯になった時は、録画ファイル保存期間設定に関係なく、古い録画ファイルから自動で削除して録画を継続します。



4.4.4 録画スケジュール

録画方式には、**連続録画**と**スケジュール録画**の 2 つがあります。スケジュール録画の場合、まずスケジュールを作成する必要があります。スケジュールを作成する時は、曜日と時間を選び、 このアイコンをクリックします。スケジュールを削除する時は、スケジュール・リストのチェック・ボックスにチェックを入れてから、 このアイコンをクリックします。最大で 15 個のスケジュールを作成できます。作成した設定を適用するに、 このアイコンをクリックします。設定を削除する時は、 このアイコンをクリックします。



4.5　システム設定

ライブ画面のシステム設定をクリックすると、VioStor-220 の設定ページが表示されます。主要な設定項目は全部で 8 つあります。

i. クイック設定
ii. システム設定
iii. ネットワーク設定
iv. ディスク設定
v. ユーザー管理
vi. ネットワーク管理
vii. システム・ツール
viii. 情報&ログ

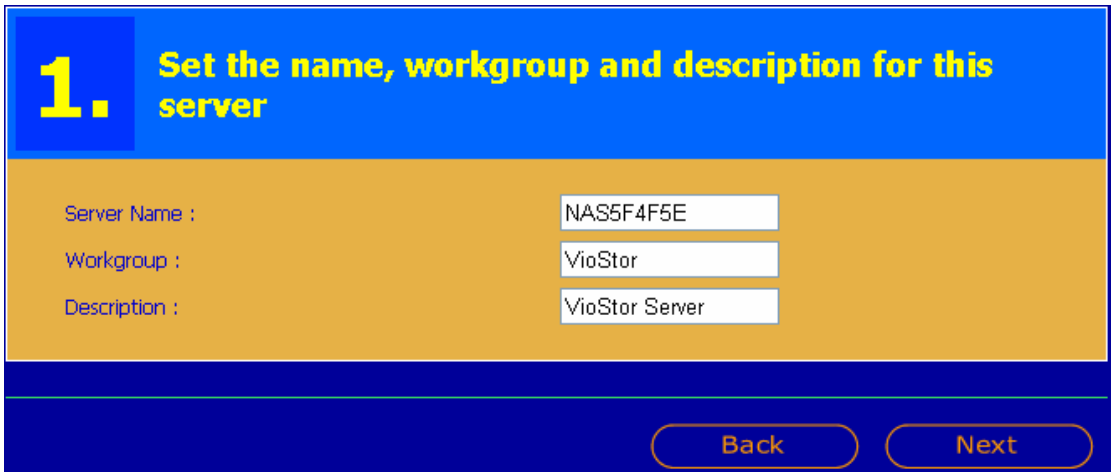
右上にある小さなアイコンは、以下の機能を持ちます。

	前のページに戻る
	トップ・ページに戻る
	ログアウトする

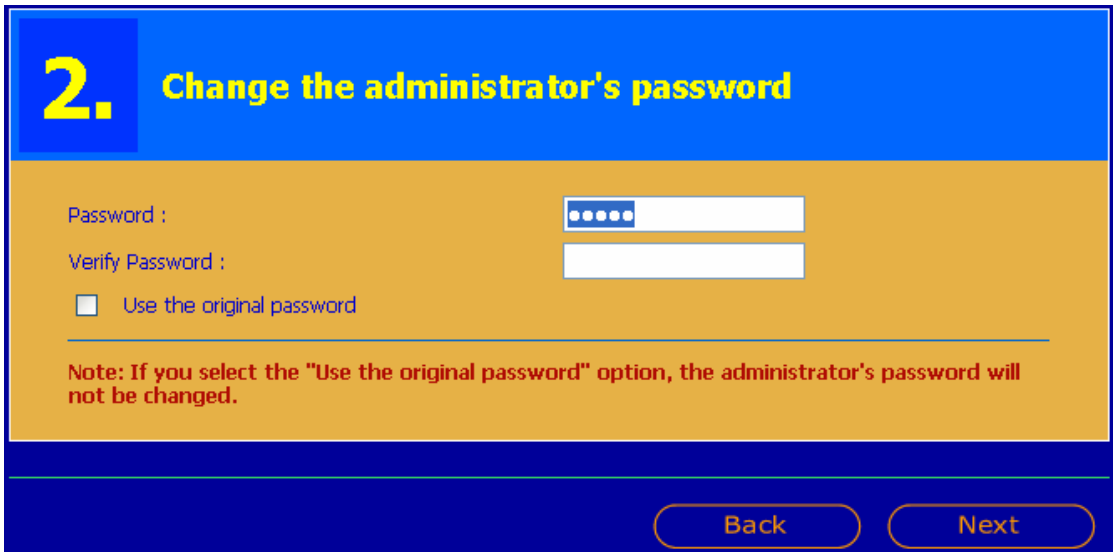
4.5.1 クイック設定

以下のガイダンスに従い、VioStor-220 の設定を行います。

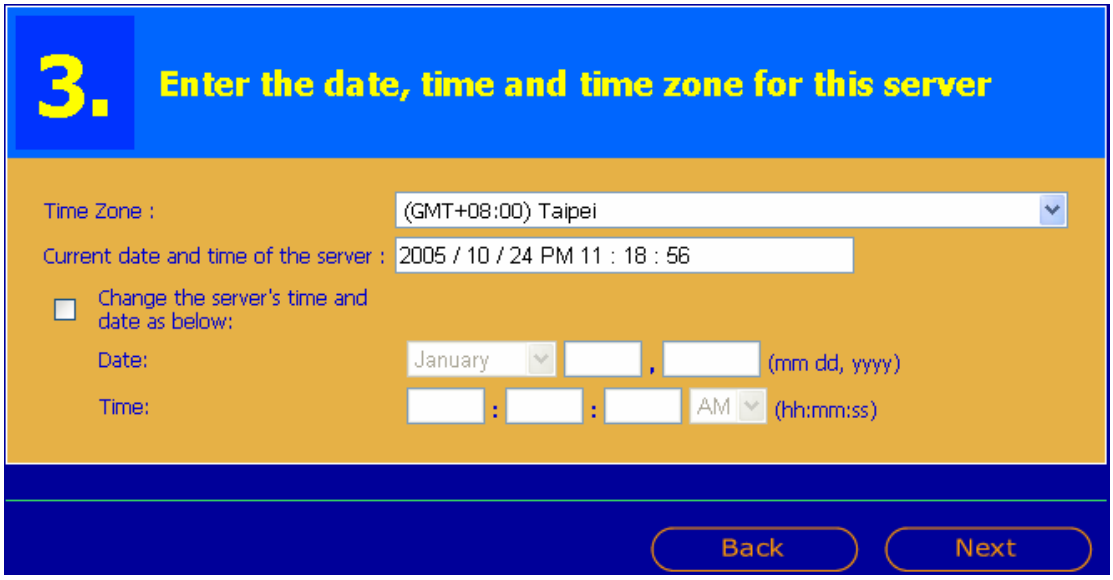
1. VioStor-220 のサーバー名、ワークグループ名、サーバーの説明を入力します。



2. パスワードを変更するか、デフォルトのパスワードの使用を選択します。

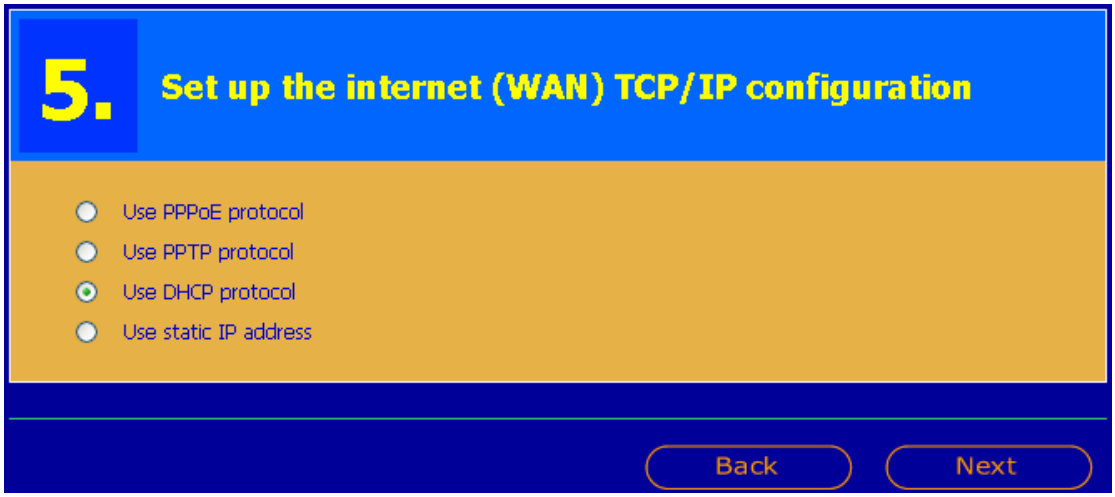


3. VioStor-220 を使用する地域の日時、タイムゾーンを設定します。

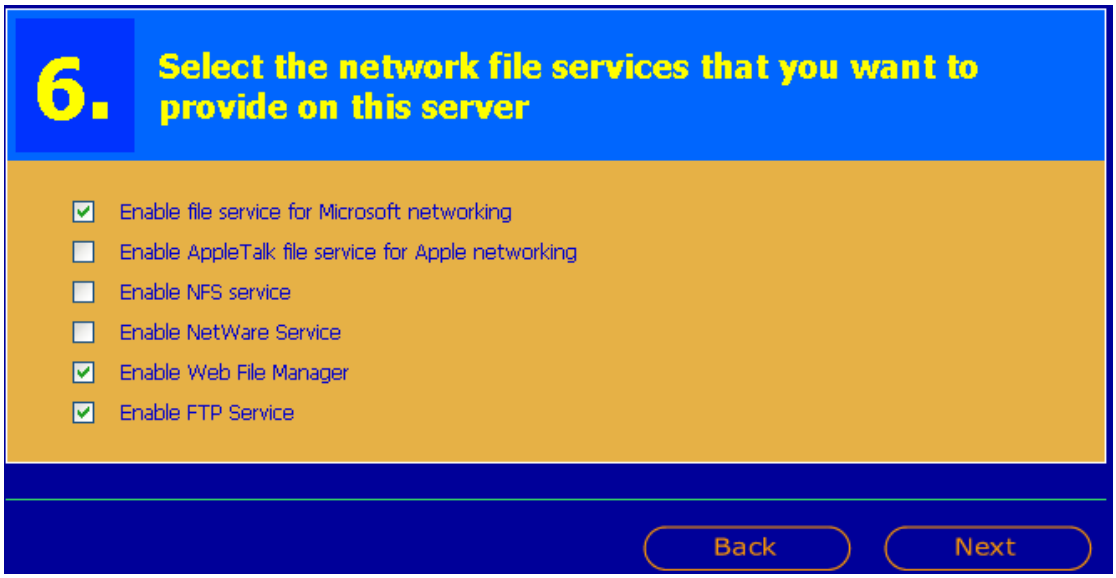


4. VioStor-220 で使用する表示言語を設定します。

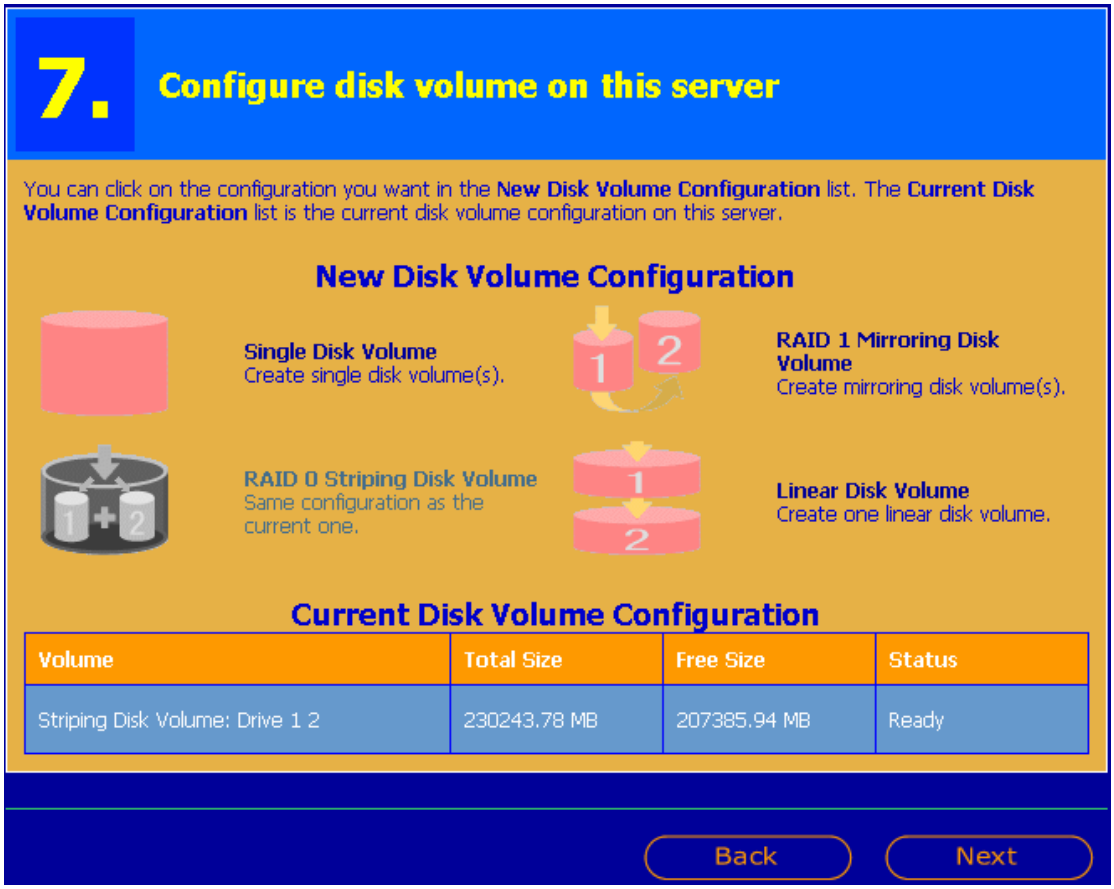
5. VioStor-220 で使用するインターネット接続形式を選択します。Chapter 4.5.3.1 を参照してください。



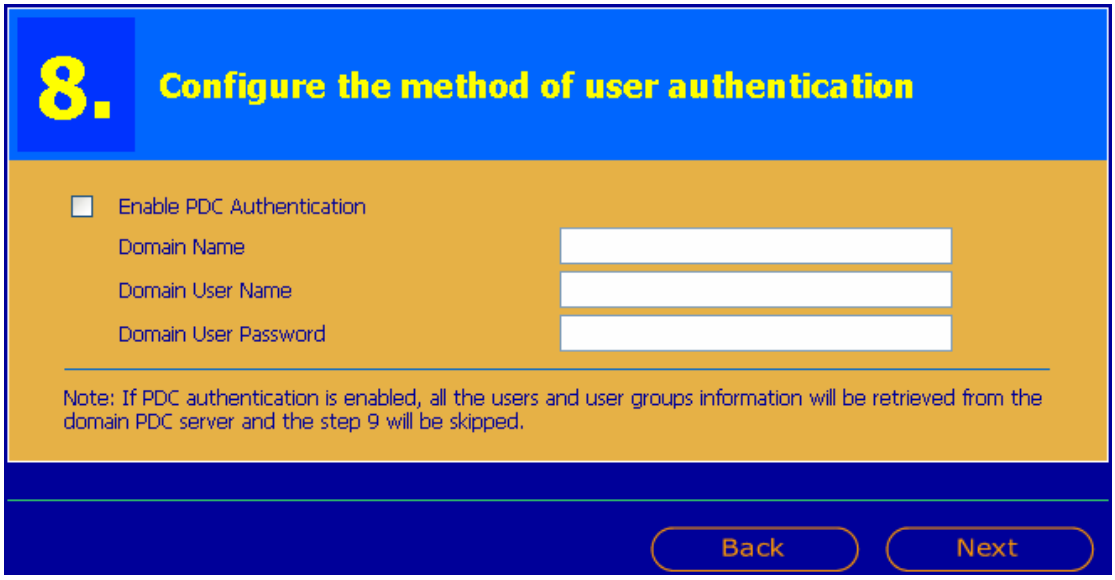
6. VioStor-220 で使用するネットワーク・ファイル・サービスを選択してください。



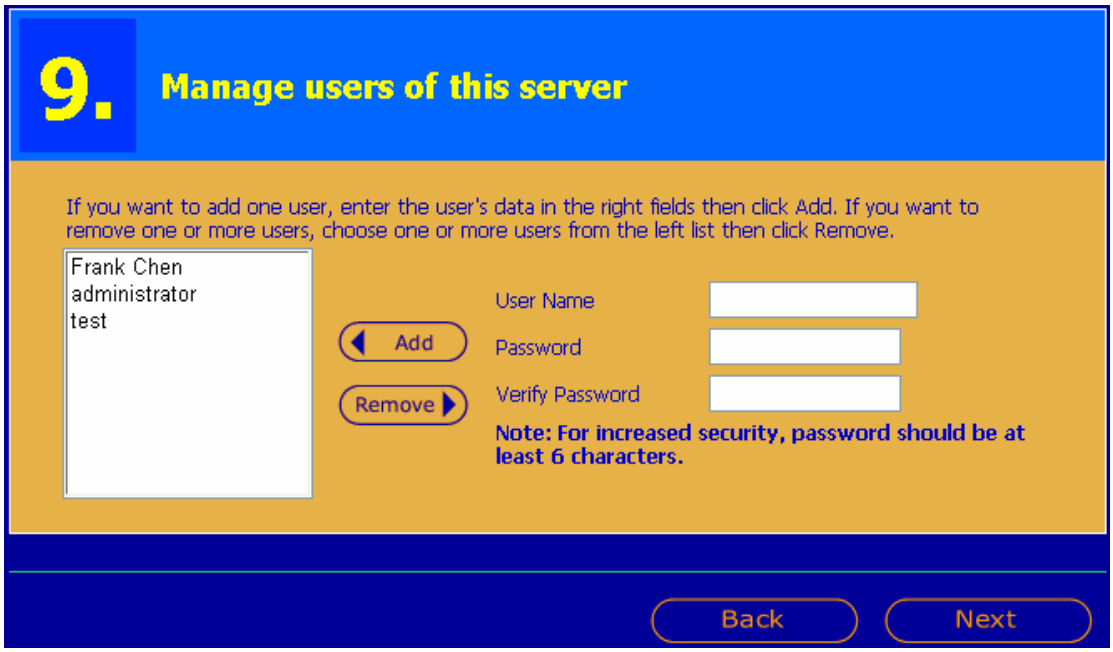
7. ディスク・ボリュームを設定してください。



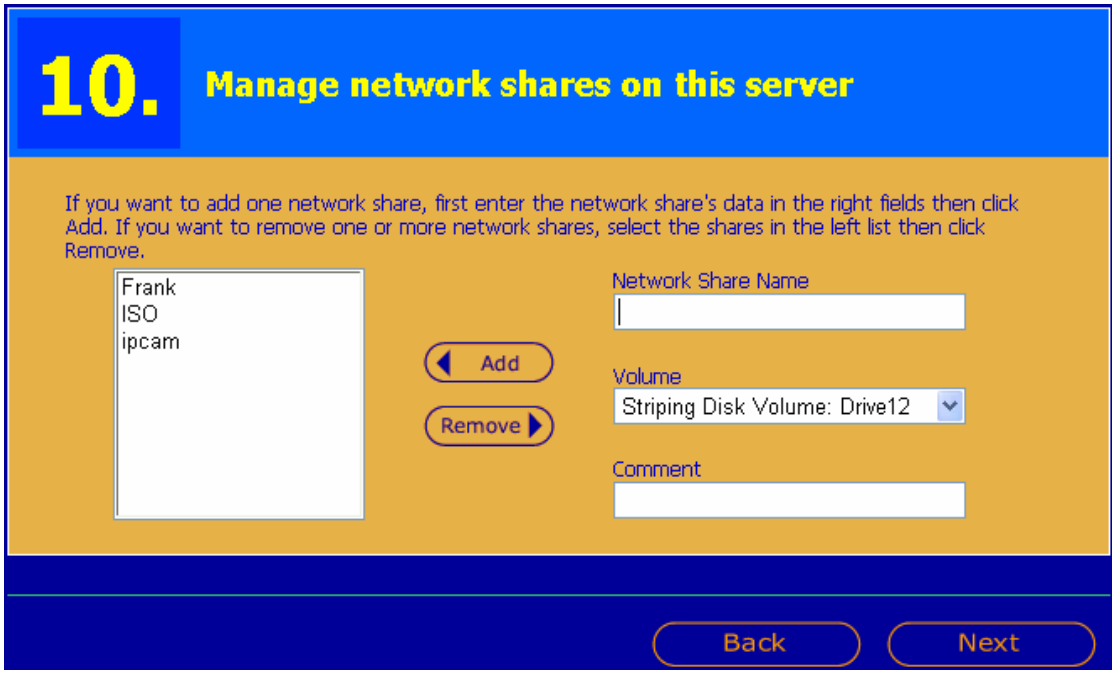
8. ユーザーの認証方法を選択してください。



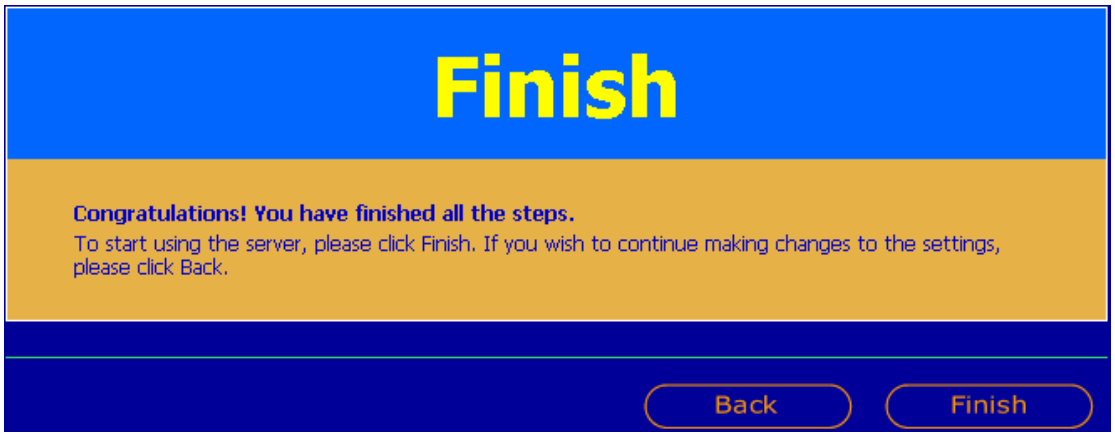
9. ユーザー管理を行います。Chapter 4.5.5 を参照してください。



10. ネットワーク共有設定を行います。Chapter 4.5.6 を参照してください。



11. 以上で VioStor-220 の基本設定が完了します。VioStor-220 を使用する準備が整いました。



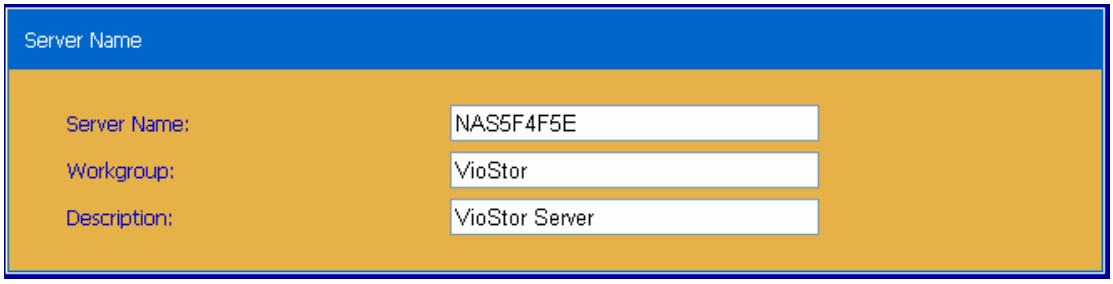
4.5.2 システム設定

システム設定ページでは、サーバー名、日時、表示言語の設定を行うことができます。

4.5.2.1 サーバー名

VioStor-220 のサーバー名、ワークグループ名、サーバーの説明を入力します。サーバー名は半角 14 文字までで、アルファベットと数字、ハイフン（-）を使用できます。スペース（空白）や以下の記号を使用することはできません。

. ; : " < > * + = \ | ? , [ ] /

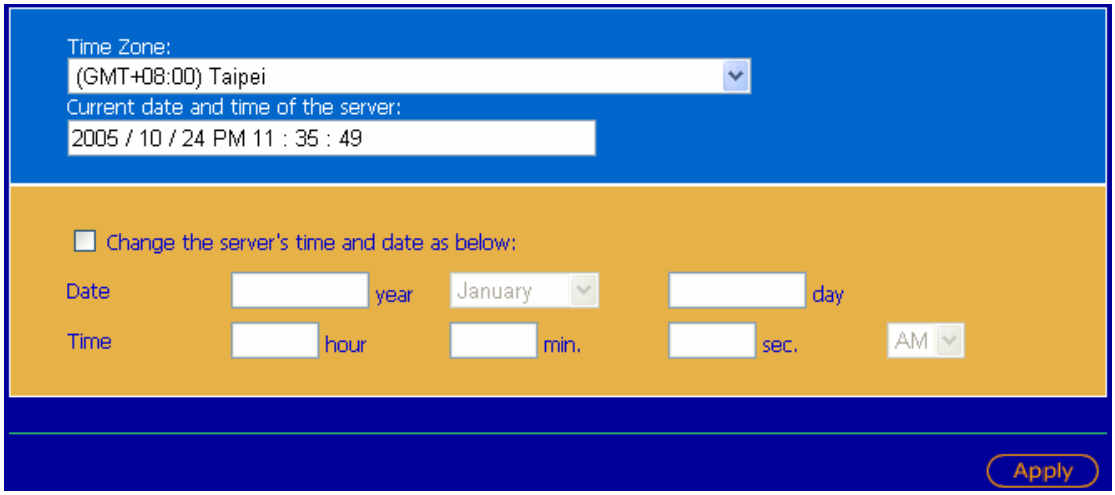


4.5.2.2 日付と時間

お使いの環境に合わせて、日付、時間、タイムゾーンを設定します。設定を間違えると、以下の障害が発生する恐れがあります。

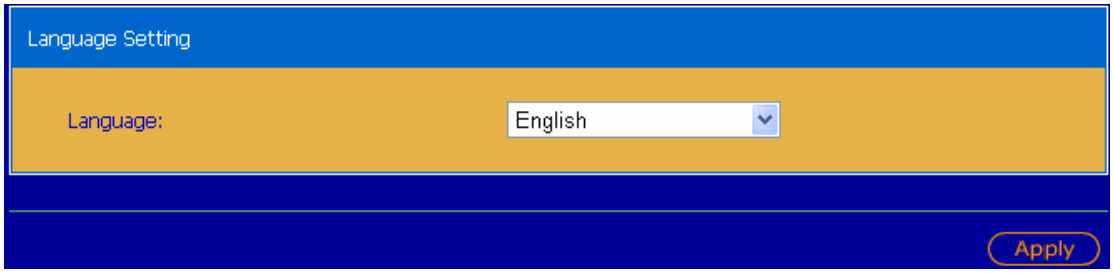
a. 録画ファイルの日付、時間が不正確になります。

b. イベント・ログに記述される日時と実際にイベントが起こった日時が異なります。



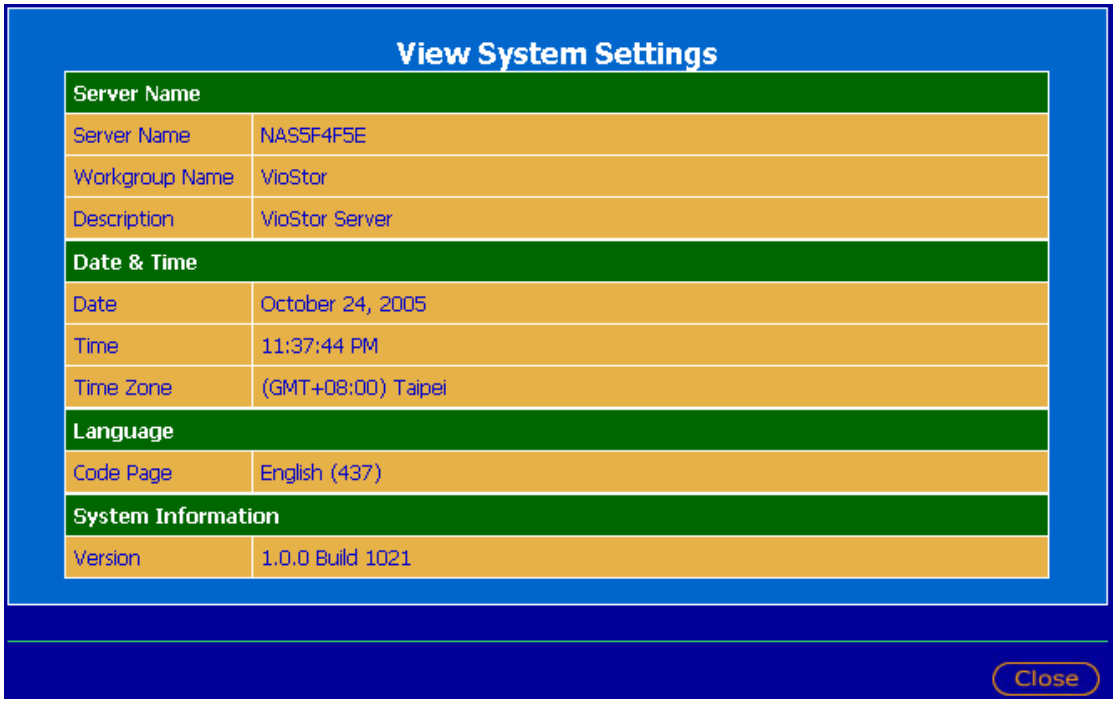
4.5.2.3 表示言語設定

使用する言語を選択します。VioStor-220 は、ここで選択された言語に基づいてファイルを作成します。



4.5.2.4 システム設定の表示

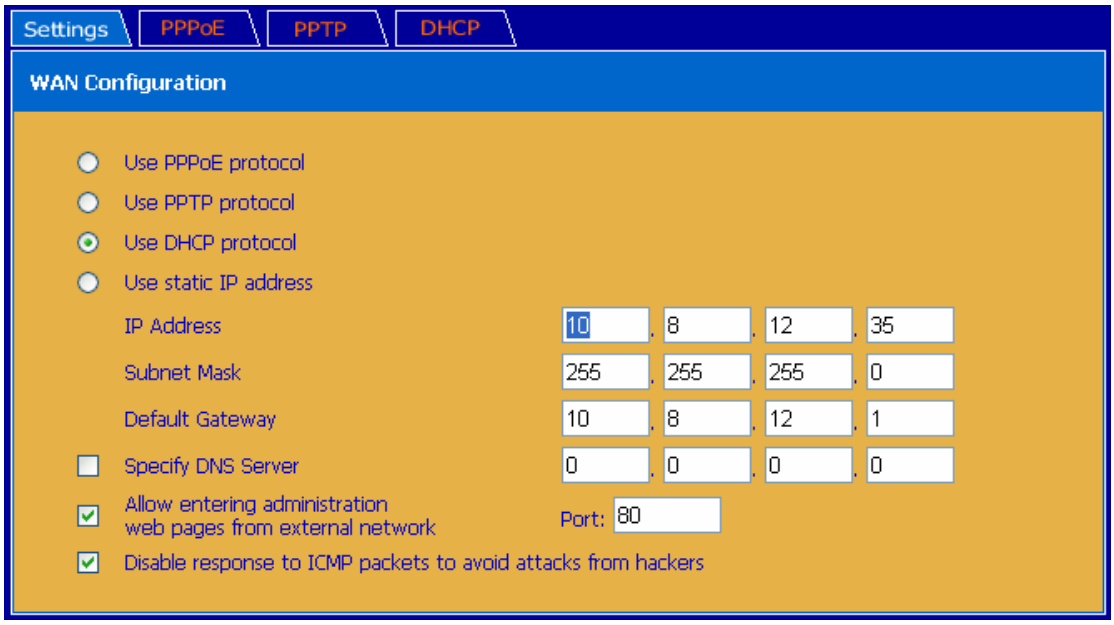
システム設定の一覧を表示します。



4.5.3 ネットワーク設定

ネットワーク設定ページでは、WAN 及び LAN の TCP/IP 設定、ネットワーク・サービス設定、ルーター及びファイアウォール設定などを行えます。

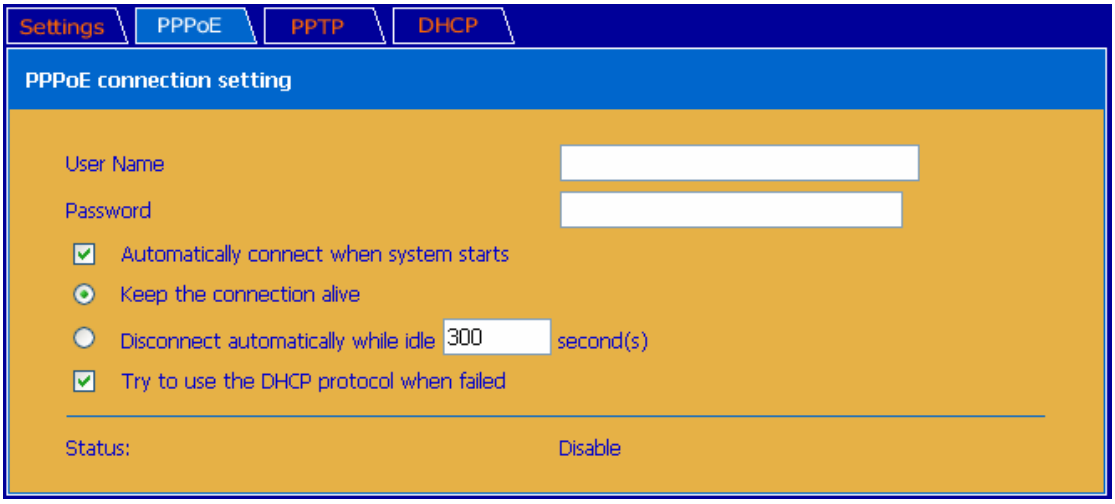
4.5.3.1 WAN設定



VioStor-220 は以下の 4 通りの方法で外部ネットワークと接続することが可能です。

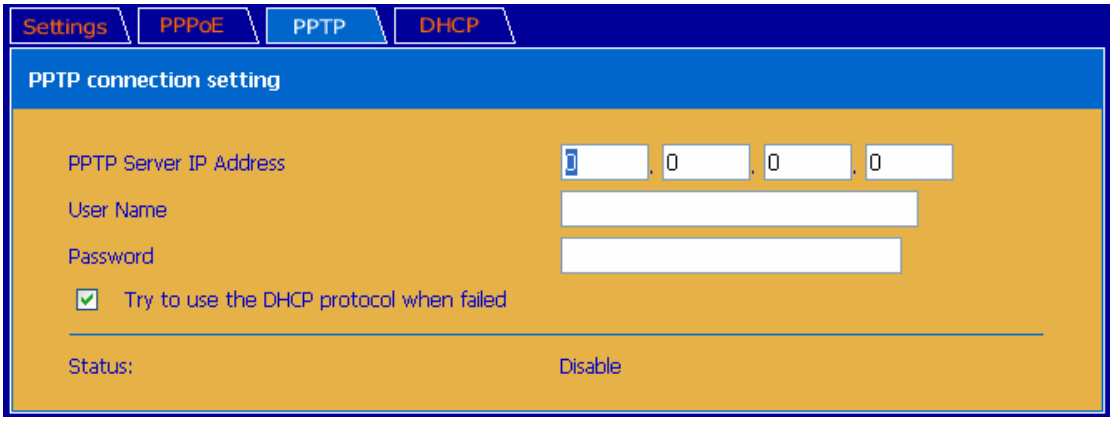
a. PPPoE 接続

PPPoE は、DSL ベースのブロードバンド・サービスで一般的に使用されるプロトコルです。ISP が PPPoE を使う時は PPPoE にチェックを入れます。PPPoE 設定ページで、ISP から提供される情報に基づき、ユーザーID とパスワードを入力します。



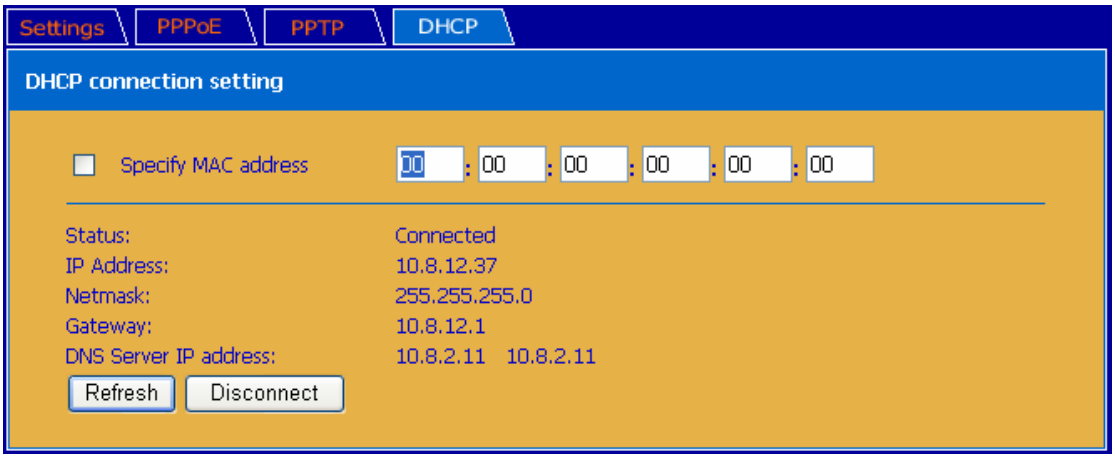
b. PPTP 接続

VioStor-220 をリモート PPTP（point to point tunneling protocol）サーバーに接続する場合は、PPTP 情報を入力します。



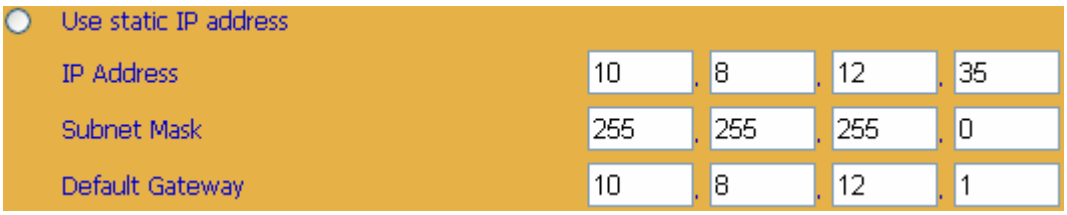
c. DHCP 接続

DHCP プロトコルは、ケーブル・モデム接続や LAN 環境で使用されます。DHCP サーバーから自動で IP アドレスが割り振られます。



d. 固定 IP アドレス

DSL ベースのブロードバンド・サービスや LAN 環境で固定 IP を使用します。IP アドレスを手動で設定する必要があります。IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイを入力します。



上記基本設定の他、以下のオプションがあります。

i. DNS サーバー

DNS サーバーを有効にするため、このオプションにチェックを入れ、サーバーの IP アドレスを入力します。

ii. 外部ネットワークからの管理者 web ページ参照

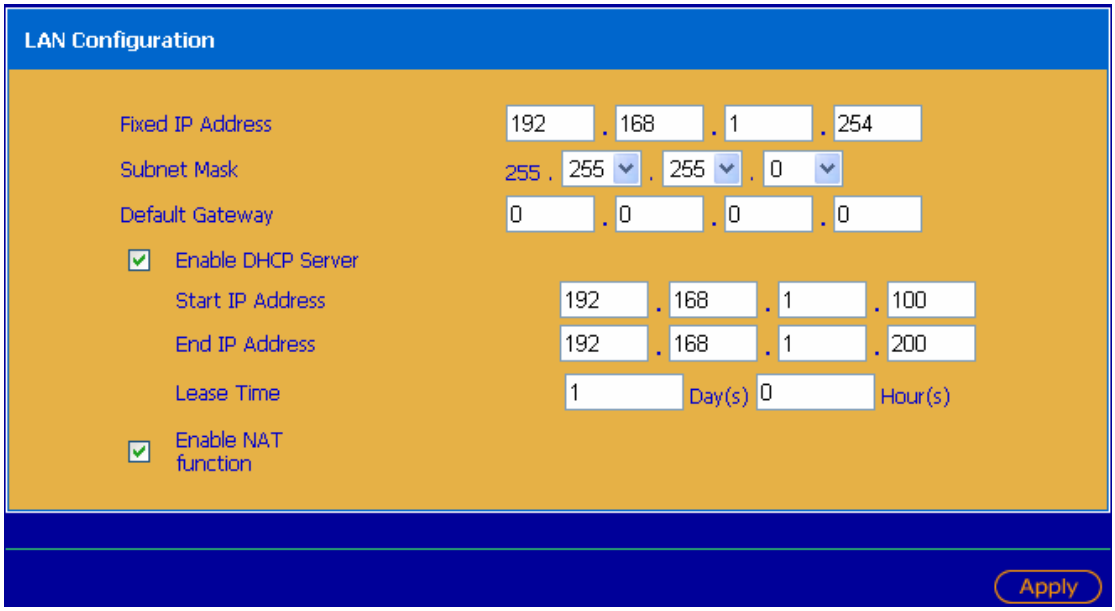
このオプションにチェックが入っていないと、WAN ポート経由でシステムの管理を行うことができません。web ページ参照のための HTTP ポート番号をここで設定できます（デフォルトのポート番号は 80）。

iii. ハッカー対策のため ICMP エコーを無効にする

このオプションを選択することで外部ネットワークからの ping を無効にし、セキュリティを向上できます。

4.5.3.2 LAN設定

VioStor-220 をインターネットに接続するためのゲートウェイとして使用している時は、通常は LAN 設定を変更する必要はありません。LAN 上のコンピューターは DHCP プロトコルによって自動で IP アドレスが割り振られます。デフォルト設定では VioStor-220 は NAT 機能が有効であり、インターネットに接続するのに 1 つの WAN アドレスを複数の LAN 上のコンピューターで共有することができます。



a. 固定IPアドレス

LAN 上で使用する、単一的な IP アドレスを設定します。VioStor-220 にアクセスする時は、この IP アドレスを使用します。VioStor-220 のプライベート IP アドレスは、LCD パネルで確認することができます（Chapter 3 参照）。

b. サブネット・マスク

サブネット・マスクは同じローカル・ネットワーク内のコンピューターを定義するために用いられます。32 ビットの 10 進法で次のように表記します：255.xxx.xxx.xxx.

c. デフォルト・ゲートウェイ

ゲートウェイは、通常は 2 つのネットワーク（LAN と WAN など）をつなぐポイントになります。NAT 機能が有効な時はゲートウェイ・アドレスを設定する必要はありません。0.0.0.0 を入力します。

d. DHCPサーバー有効

DHCP サーバーが有効になっていれば、VioStor-220 はローカル・ネットワークのコンピューターに、設定範囲内の IP アドレスを自動で付与します。

注意：ローカル・ネットワーク上では複数の DHCP サーバーが存在しないようにしてください。

e. NAT機能有効

NAT（Network Address Translation）機能により、1 つの WAN アドレスで LAN 接続した複数のコンピューターが同時にインターネットにアクセスすることが出来ます。この機能は VioStor-220 が直接インターネットに接続する場合に有効です。

4.5.3.3 ネットワーク･ファイル･サービス

a. Microsoftネットワーク

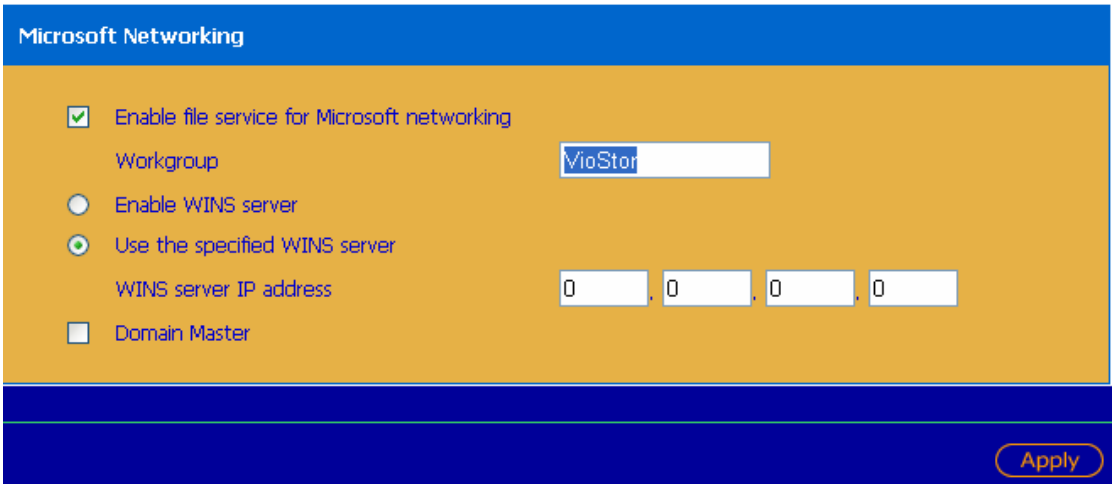
Microsoft Windows OS で VioStor-220 を使用する場合、Microsoft Network Services を有効にします。ローカル・ネットワークに WINS サーバーがある時は、IP アドレスを入力します。VioStor-220 は自動でサーバー名と IP アドレスを WINS サービスに登録します。また、VioStor-220 を WINS サーバーとして利用することも可能です。

WINSサーバー

ローカル・ネットワークに WINS サーバーがある時は、その IP アドレスを入力します。VioStor-220 は自動でサーバー名と IP アドレスを WINS サービスに登録します。WINS サービスを無効にしたい時、またネットワーク上に WINS サーバーがない時は、WINS サーバーの IP アドレスに「0.0.0.0」を入力します。

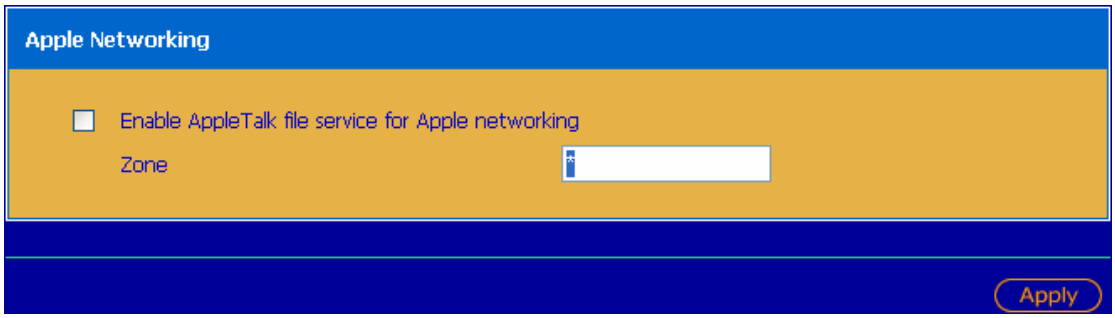
ドメイン･マスター

Windows のネットワークやワーク・グループの各コンピューターが録画ファイルなどを利用するための、ドメイン・マスター・ブラウザがあります。ネットワーク上に他のドメイン・マスター・ブラウザ（Windows NT/ 200x/ XP PC）がある時は、VioStor-220 でこの機能を有効にする必要はありません。



b. Appleネットワーク

Mac OS で VioStor-220 を使用する場合、AppleTalk network を有効にします。AppleTalk ネットワークが外部ネットワークを用い、複数のゾーンにアサインされる時は、VioStor-220 のゾーン名をアサインしてください。ネットワーク・ゾーンへのアサインを望まない時はアスタリスク（*）を入力します（デフォルト設定）。

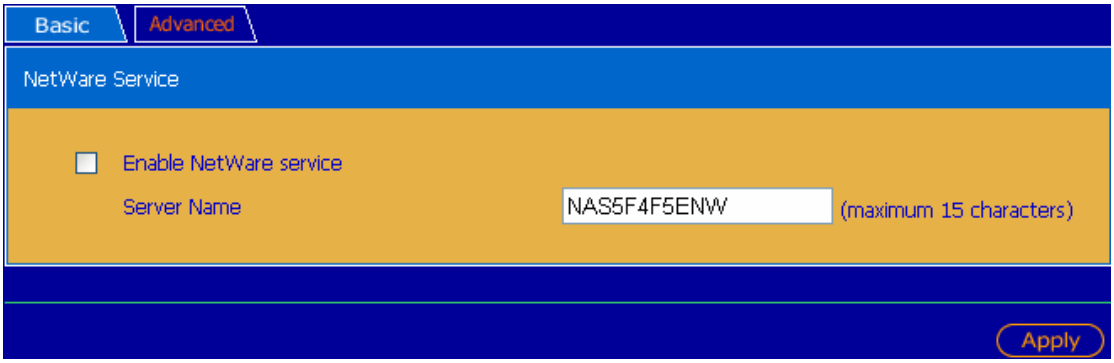


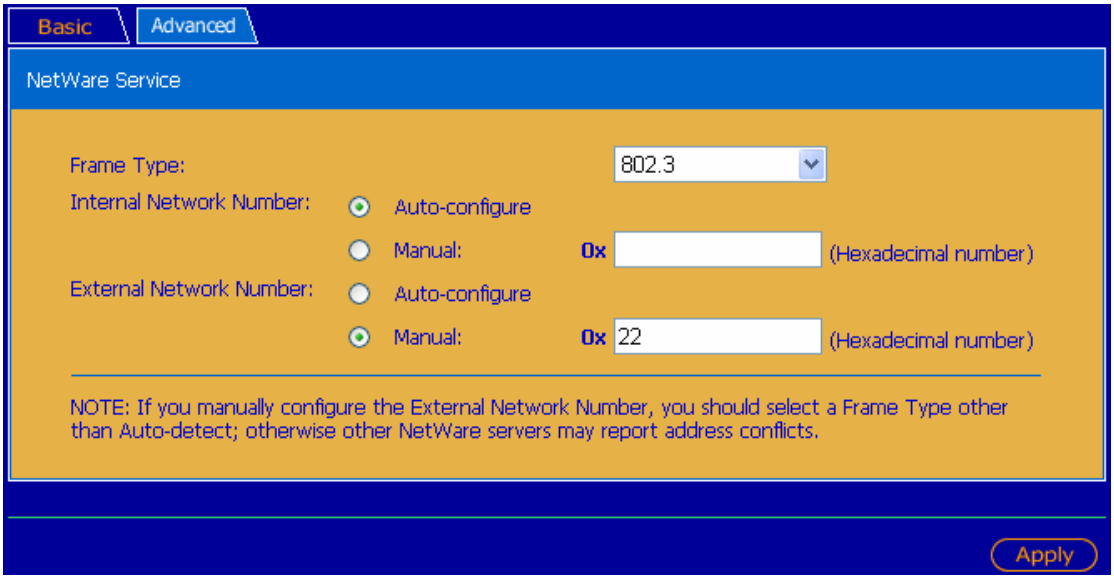
c. Unix／Linux NFS

Linux OS で VioStor-220 を使用する時は、Linux NFS Service を有効にします。VioStor-220 は NFS version 2.0 に対応しています。NFS Service を利用するために、「ユーザー管理－ユーザー：NFS 設定ページ」でユーザーの UID と IP アドレスを設定する必要があります。Chapter 4.5.5.1 を参照してください。

d. NetWareサービス

NetWare を使って VioStor-220 にアクセスする時は、NetWare サービスを有効にします。VioStor-220 は Novell NetWare 3.12 ファイル・サーバーと同じように扱えます。



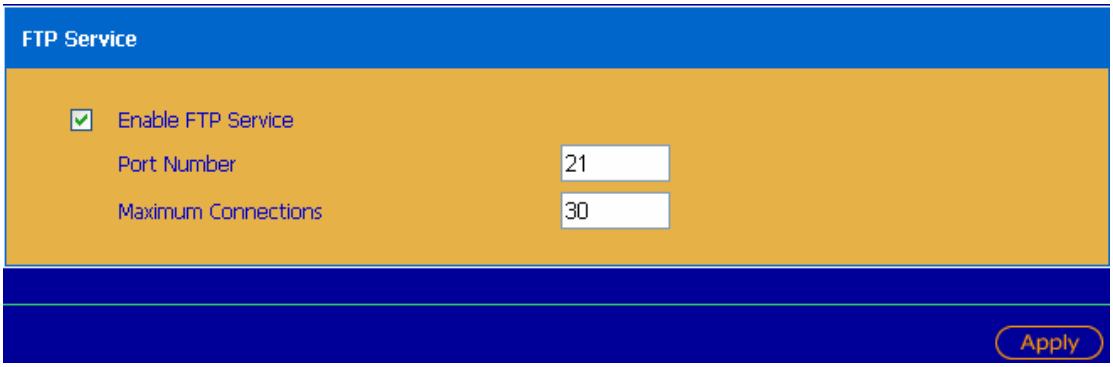


e. Webサービス

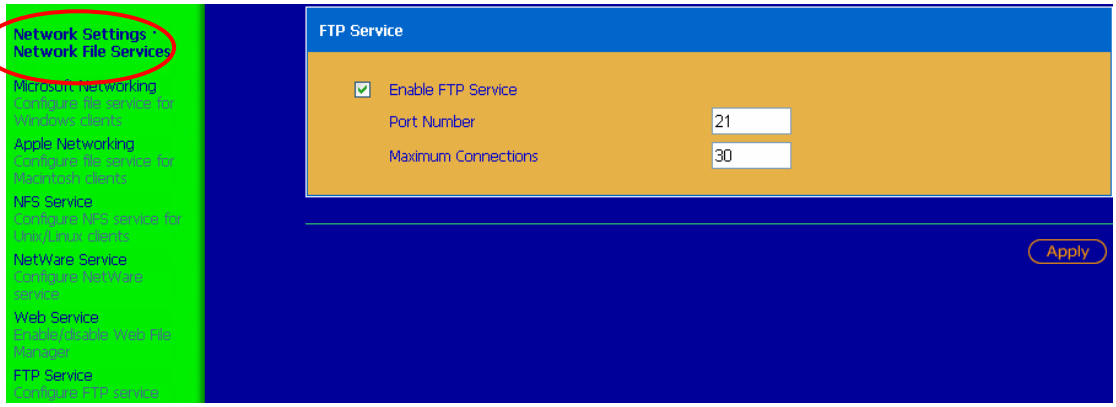
標準 OS を利用するのではなく、web ブラウザを使って VioStor-220 のファイルにアクセスすることができます。VioStor-220 がインターネットに接続しているのであれば、世界中どこからでも web ブラウザを使ってファイルにアクセスできます。

f. ＦＴＰサービス

VioStor-220 にファイルをアップロードしたり、ダウンロードするために file transfer protocol（FTP）を使います。FTP サービスを有効にします。



ネットワーク設定ページに戻るには、左側の「ネットワーク設定・NAS サービス」をクリックします。



4.5.3.4 DNSサービス

DNS（Domain Name System）とは、ホスト名を元にホストの IP アドレスを通知する機能です。DNS サーバーはネットワーク上でドメイン・ネーム・サービスを提供します。ユーザーはインターネット上でドメイン名を取得・管理することができます。ドメイン名の取得方法がわからない時は、ご利用の ISP にお問い合わせください。ドメイン設定に基づき、VioStor-220 をプライマリ、またはセカンダリ DNS サーバーとして使用できます。

プライマリDNSサーバー

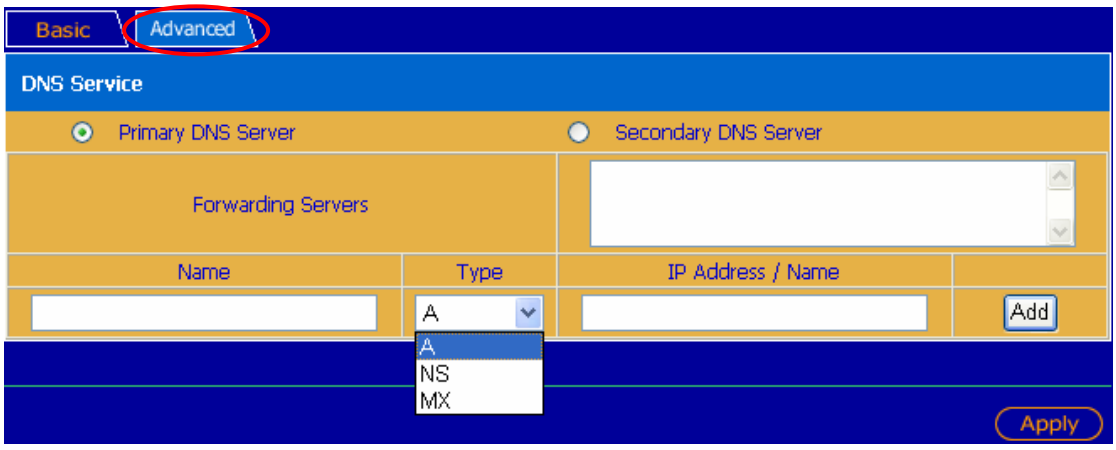
プライマリ DNS サーバーは、ホスト名とそれに対応する IP アドレスの記録を保持し続けなければなりません。ドメインに以下のネーム・レコードを追加することもできます。

A: フォワード・アドレス・レコード
NS: ネーム・サーバー・レコード
MX: メール・エクスチェンジ・サーバー・レコード

また、フォワーディング・サーバーを設定することができます。指定された DNS サーバーに応答できない場合、フォワーディング・サーバーに転送要求を受け付けるように設定します。

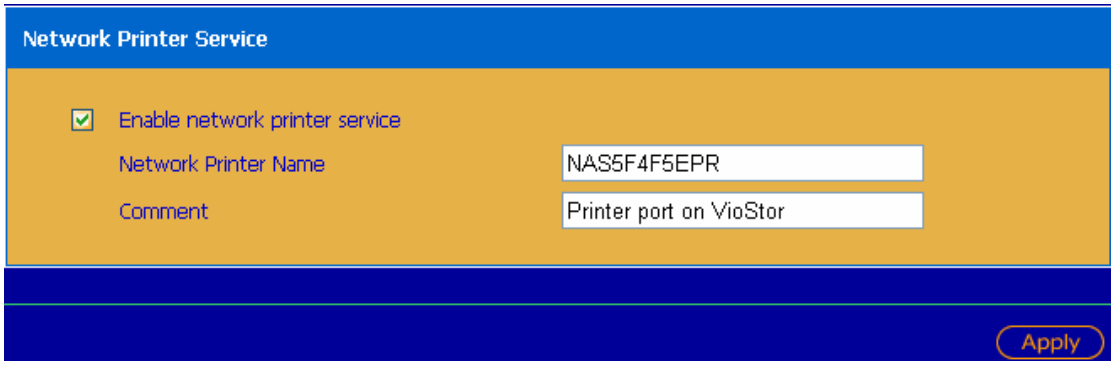
セカンダリDNSサーバー

VioStor-220 をプライマリ DNS サーバーの応答がない場合に使用するセカンダリ DNS サーバーとして設定することが可能です。



4.5.3.5 プリンタ･サーバー

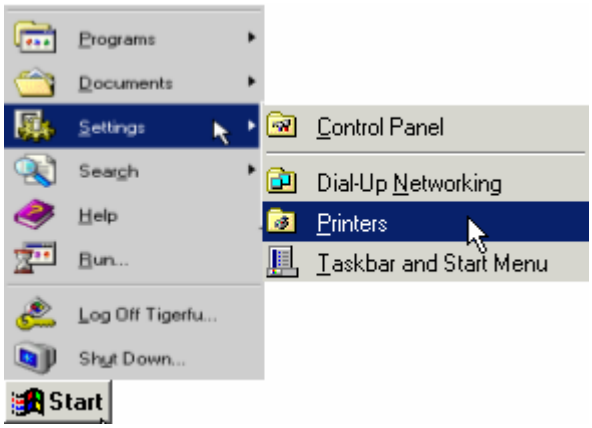
VioStor-220 はネットワーク・プリンター・サービスを提供します。共有するプリンターを VioStor-220 に接続します。プリンター名と説明を入力します（任意）。



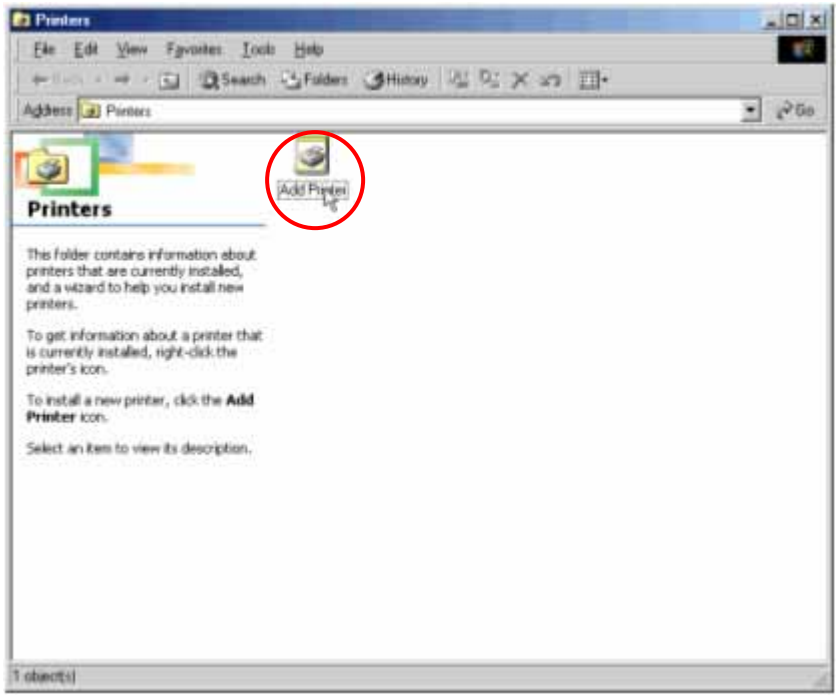
コンピューターの設定

Windows 98 または Windows ME にネットワーク・プリンターをインストールする時は、以下の手順に従ってください。

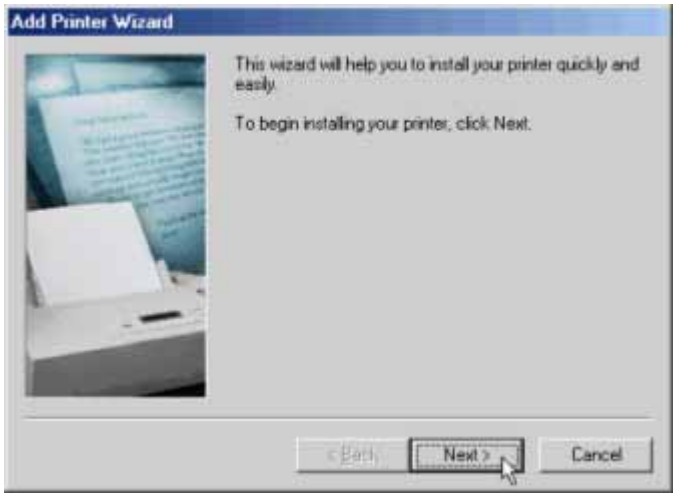
1. スタート・メニューの［設定］から［プリンター］を選択します。



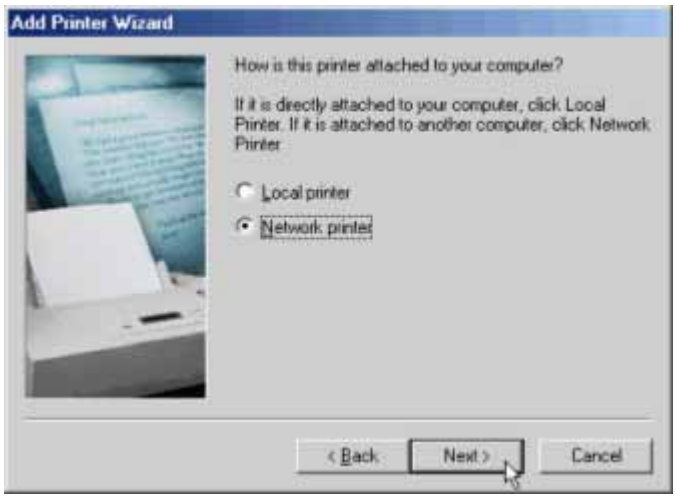
2. ［プリンターの追加］をクリックしてウィザードを起動します。



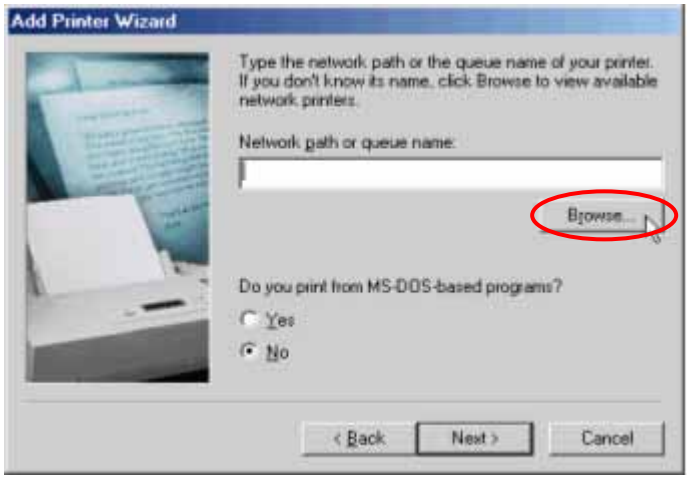
3. ［次へ］をクリックします。



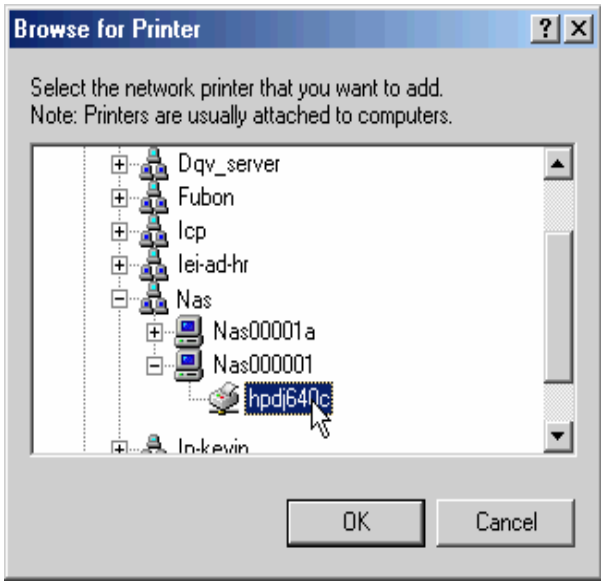
4. ［ネットワーク・プリンター］を選択して［次へ］をクリックします。



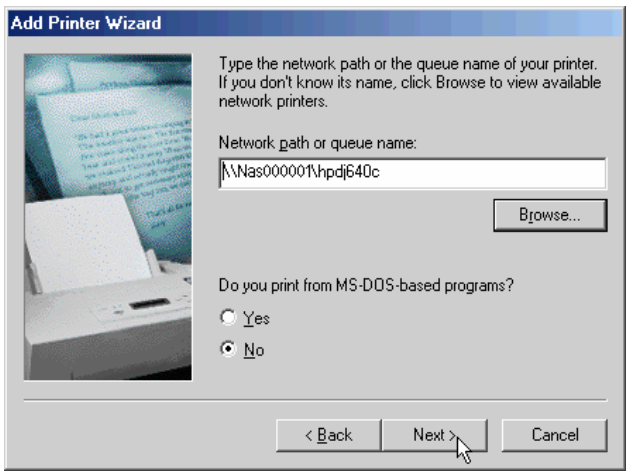
5. ネットワーク・パスを入力するか［参照］を押して利用可能なプリンターを探します。前者なら手順 7 へ進みます。



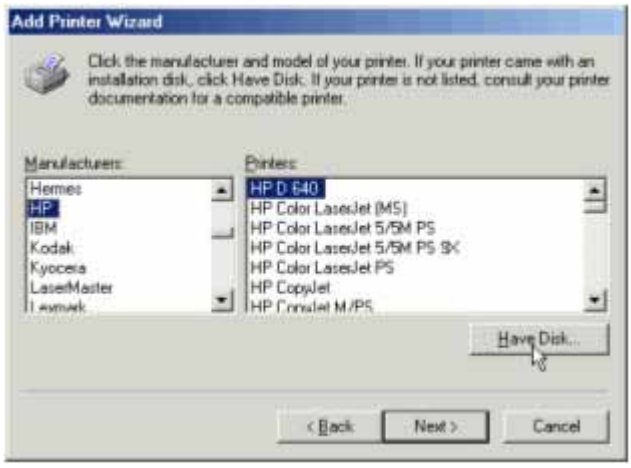
6. VioStor-220 を検索し、VioStor-220 に接続されているプリンターを選択して［OK］をクリックします。



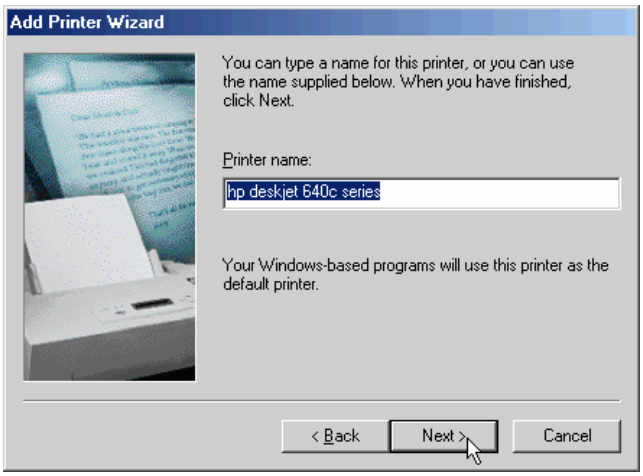
7. ネットワーク・パスを確認して［次へ］をクリックします。



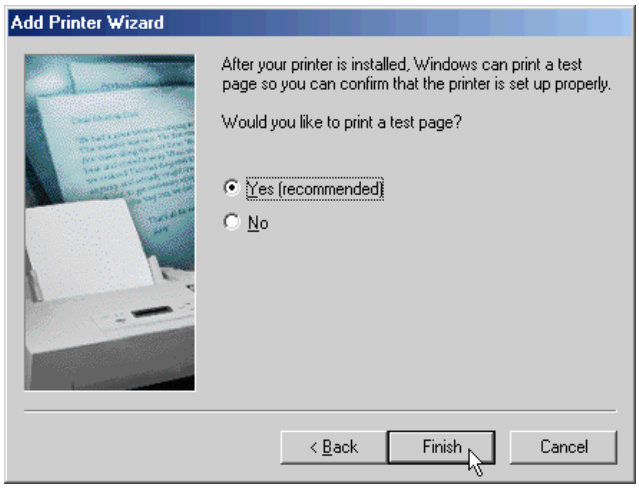
8. ネットワーク・プリンターのドライバーを選択する画面が表示されます。適切なドライバーを選択します。



9. プリンター名を入力して［次へ］をクリックします。



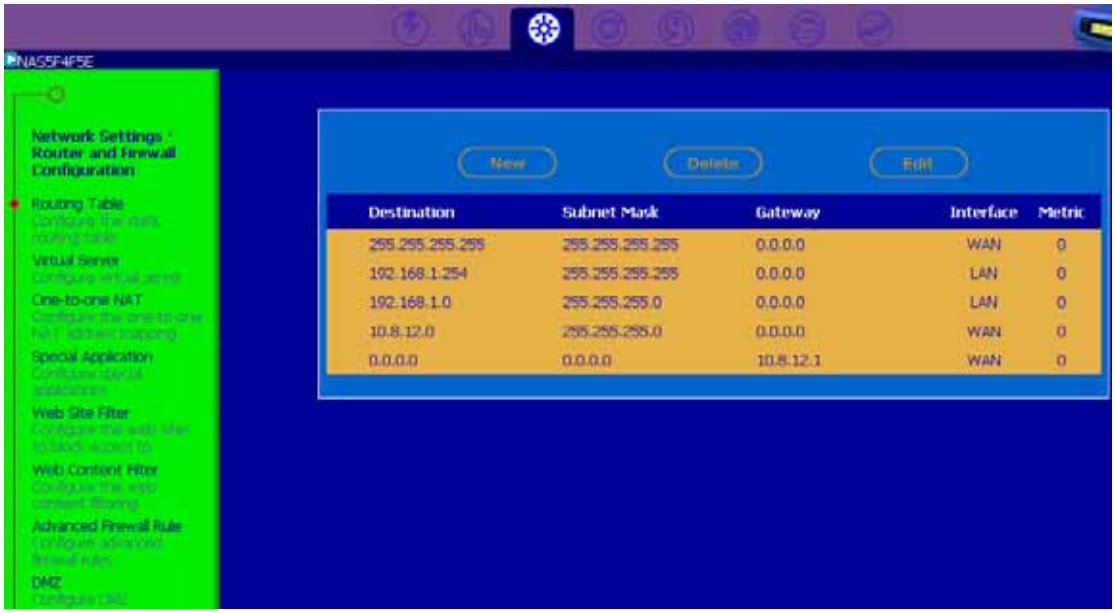
10. ［完了］をクリックしてテスト印刷を行います。うまくいかない時は、プリンターのトラブルシューティングやマニュアルを参照して対処してください。



4.5.3.6 ルーター、ファイアウォール設定

ルーター、ファイアウォール設定ページでは以下の項目を設定できます。

a. ルーティング・テーブル
b. バーチャル・サーバ
c. 1 対 1NAT 機能
d. ネットワーク・ゲームの設定
e. フィルタリング設定
f. URL アクセス設定
g. ファイアウォール
h. DMZ 設定

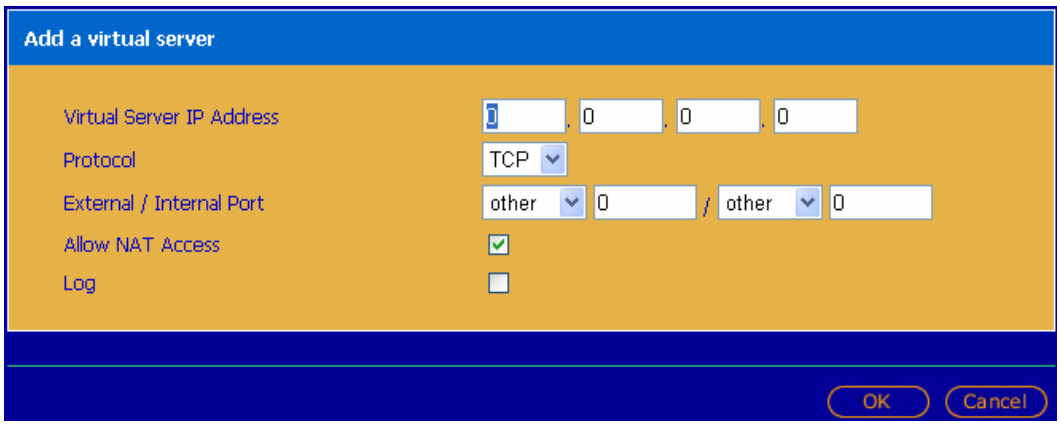


a. ルーティング･テーブル

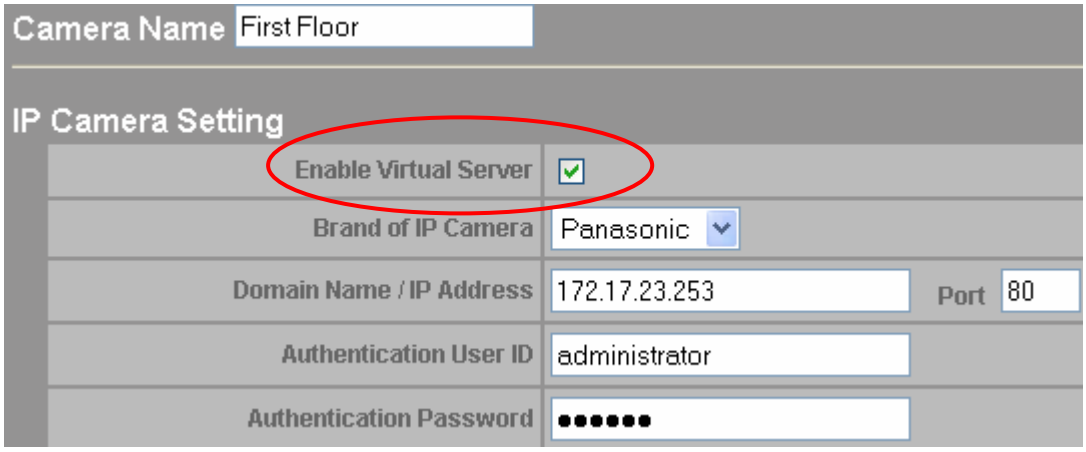
通常、ルーティング・テーブルを設定する必要はありませんが、複数のネットワークを接続する場合、ルーティング・テーブルを設定します。ネットワーク上に他にルーターがないのであれば、ルーティング・テーブルを設定する必要はありません。WAN と LAN 間の接続のため、デフォルトのルーティング・テーブルを使用します。

b. バーチャル･サーバ

この機能を使うことにより、ネットワーク上のサーバーをインターネットで公開することができます。インターネット・ユーザーは VioStor-220 の WAN IP アドレスを使ってサーバーにアクセスします。

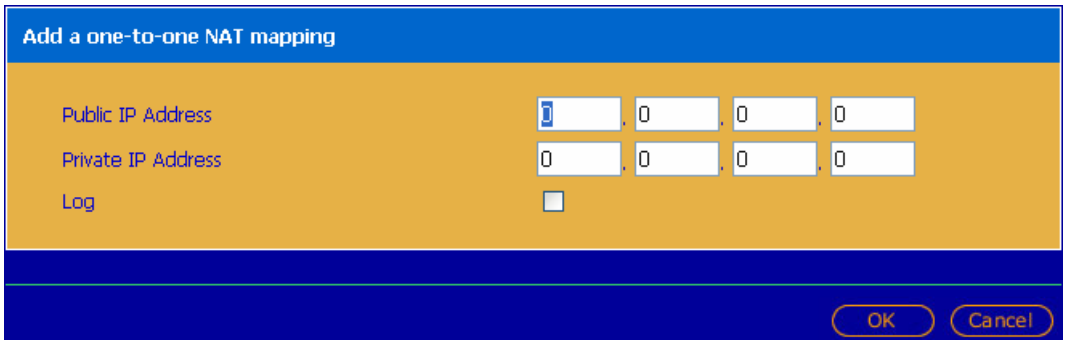


注意：このページで IP カメラを公開する設定を行うと、VioStor-220 の LAN ポートに接続している IP カメラはライブ画面で表示されません。ライブ画面の**IP カメラ設定**をクリックして、［バーチャル・サーバ機能］にチェックを入れてください。Chapter 4.4.2 を参照してください。



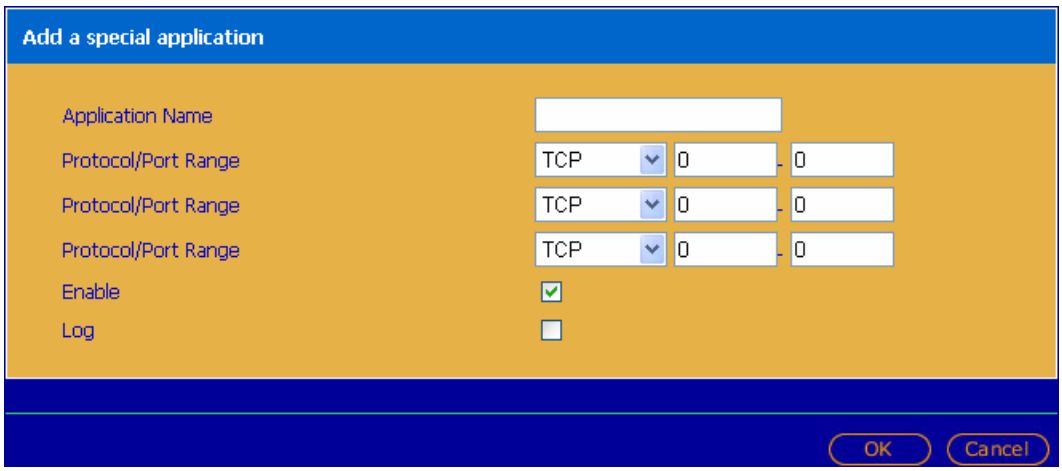
c. 1対1NAT(Network Address Translation)機能

NAT 機能により、WAN IP アドレスをローカル・ネットワークの IP アドレスに割り振ることができます。この機能を使用するためには、ISP から複数の固定 IP を受け取っている必要があります。



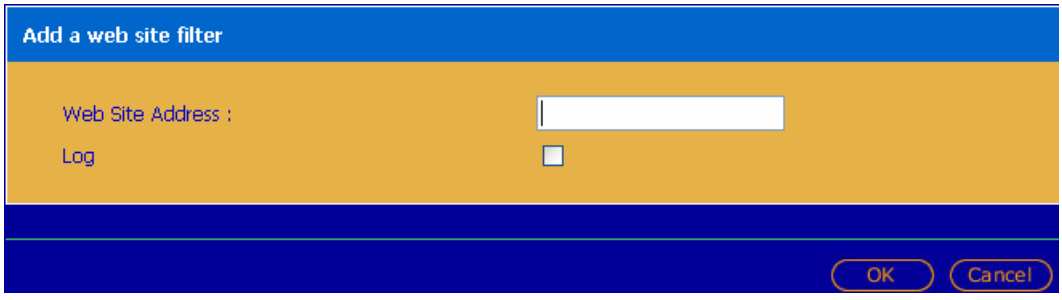
d. ネットワーク･ゲーム

双方向コミュニケーションや同時セッションを行うオンライン・アプリケーションを使用するための設定です。オンラインゲームを行う場合など、マニュアルに従って本項目を設定します。



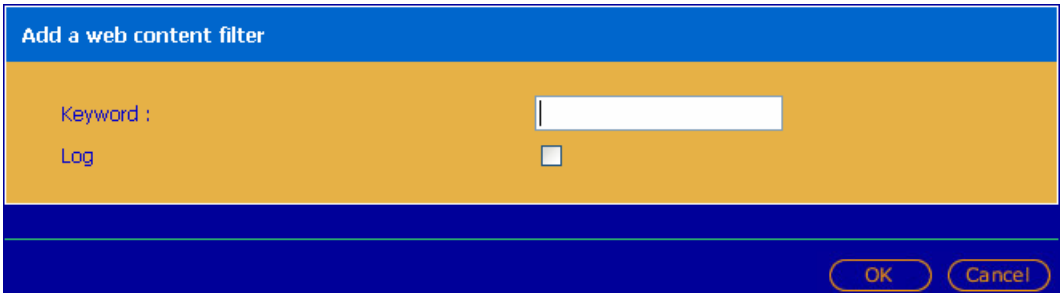
e. フィルタリング

フィルタ機能により、特定の web サイトにアクセスするのを防ぎます。web サイトのアドレスを登録すれば、LAN 内の全てのクライアントは、そのアドレスにアクセスできなくなります。



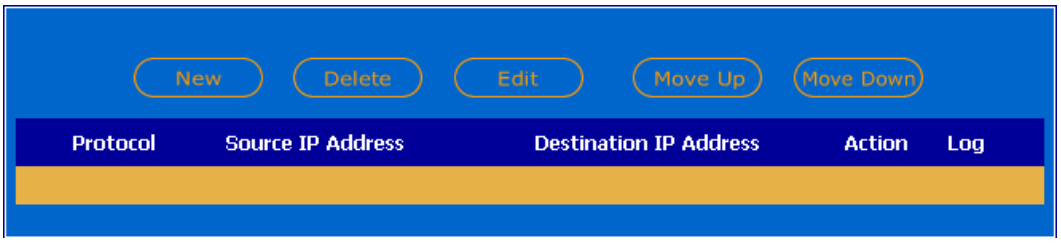
f. URLアクセス設定

特定の web サイトへのアクセスを禁止したい時に使用します。



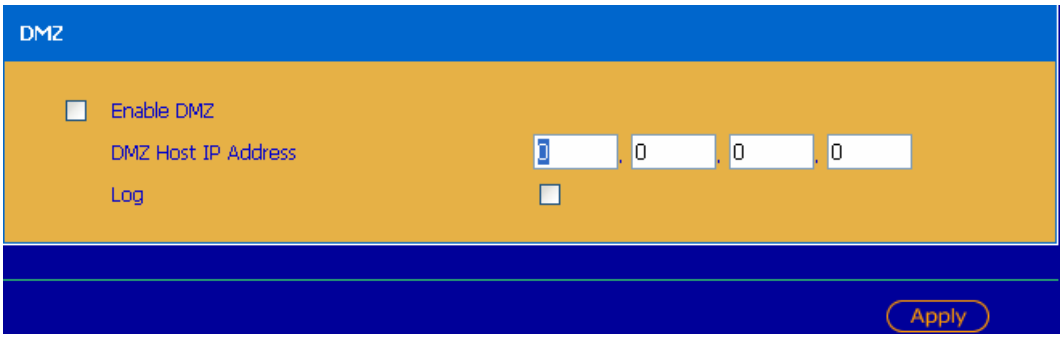
g. ファイアウォール

LAN と WAN の間の通信ルールを設定します。デフォルト設定では、web サイトへの要求を除き、外部から内部への通信は全て拒否され、内部から外部への通信は通過します。

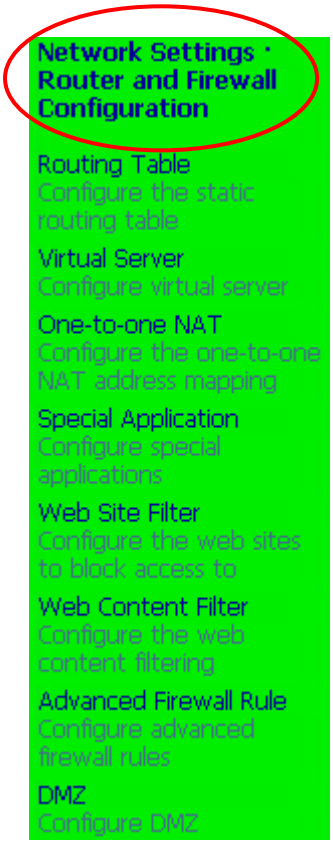


h. DMZ

この機能を使うことで、インターネット経由の通信をローカル・ネットワーク内の 1 台のコンピューターに集中させることができます。これにより、外部ネットワークのユーザーと DMZ コンピューターとの間で双方向通信を行うことが可能です。オンラインゲームやビデオ・チャットがうまくいかない時は、コンピューターを DMZ ホストに設定して試してみてください。



ネットワーク設定ページに戻る時は、メニューの一番上にある［ネットワーク設定・ルーターとファイアウォール設定］をクリックしてください。

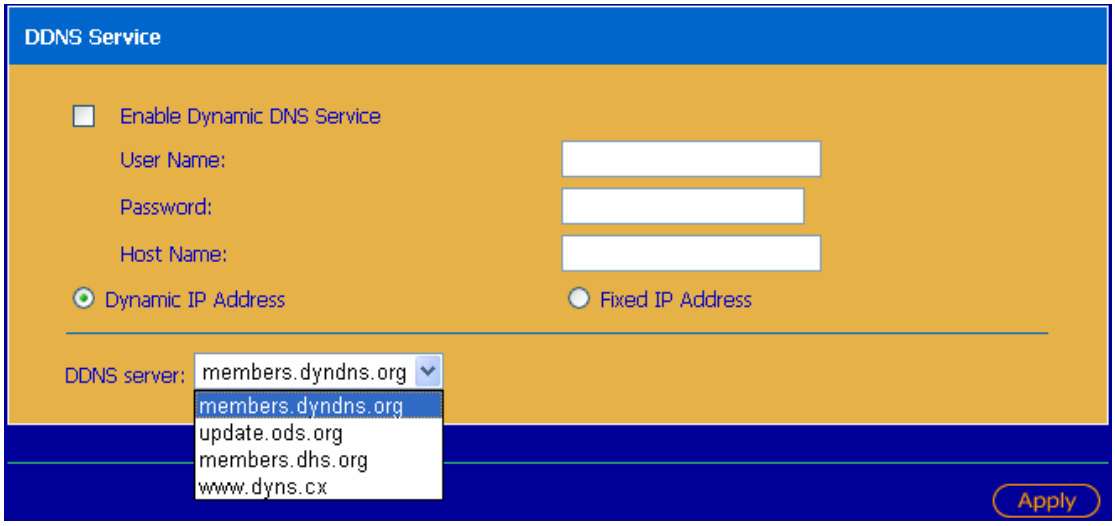


4.5.3.7 DDNSサービス

DDNS（ダイナミック DNS）を使うことにより、IP アドレスではなく、ドメイン名を使ってインターネット経由で VioStor-220 にアクセスすることが可能です。この機能は動的な WAN IP のブロードバンド・サービスで有効です。この機能を使うには、事前に DDNS サービス・プロバイダーから必要な情報を入手しなければなりません（付録 A 参照）。

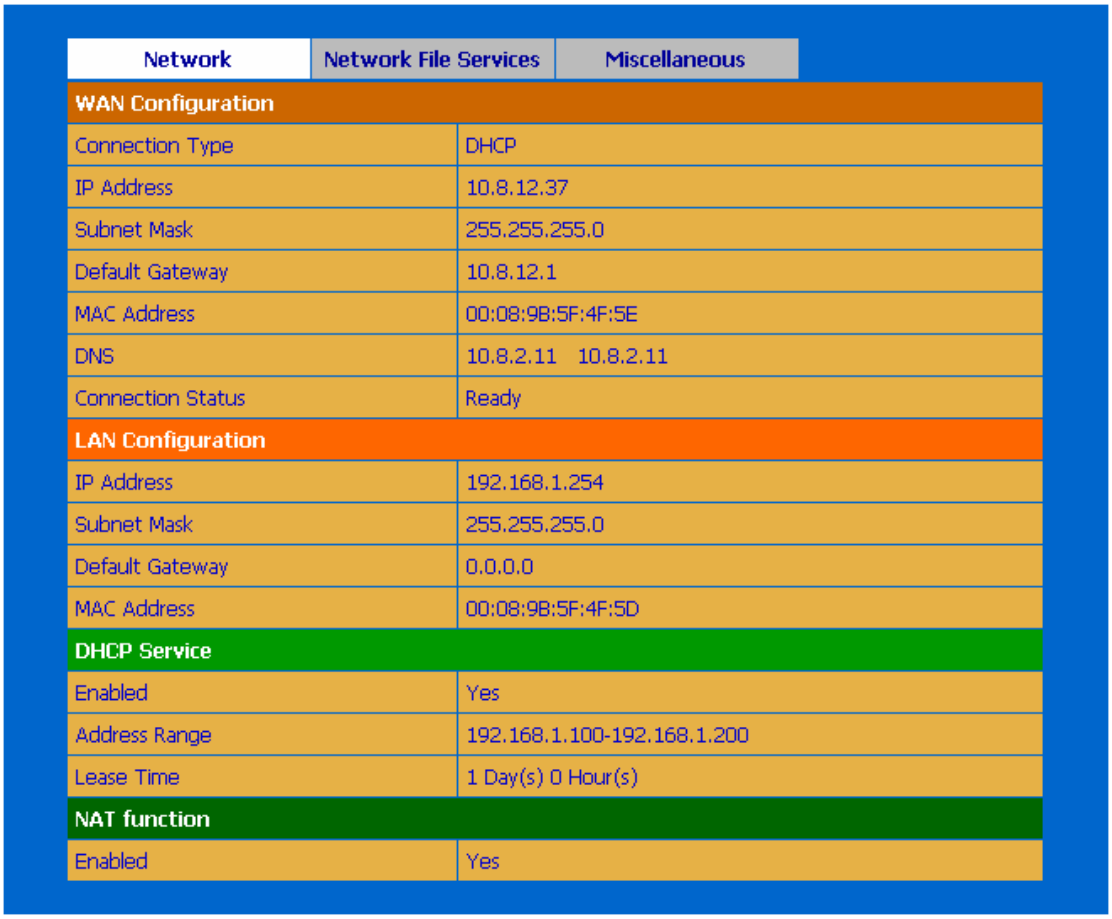
注意：VioStor-220 が現在サポートしている DDNS サービスは以下の通りです。

i. DynDNS (http://www.dyndns.org/)
ii. ODS (http://update.ods.org/)
iii. DHS (http://www.dhs.org/)
iv. DyNS (www.dyns.cx)



4.5.3.8 ネットワーク設定の表示

VioStor-220 のネットワーク設定の一覧を表示できます。

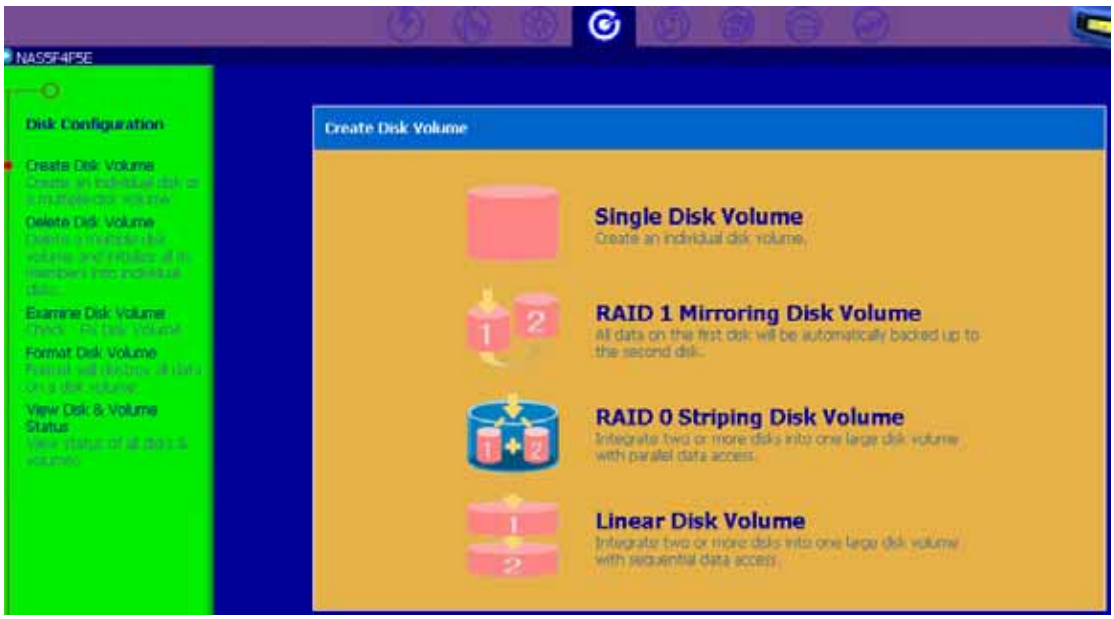


Network | Network File Services | Miscellaneous

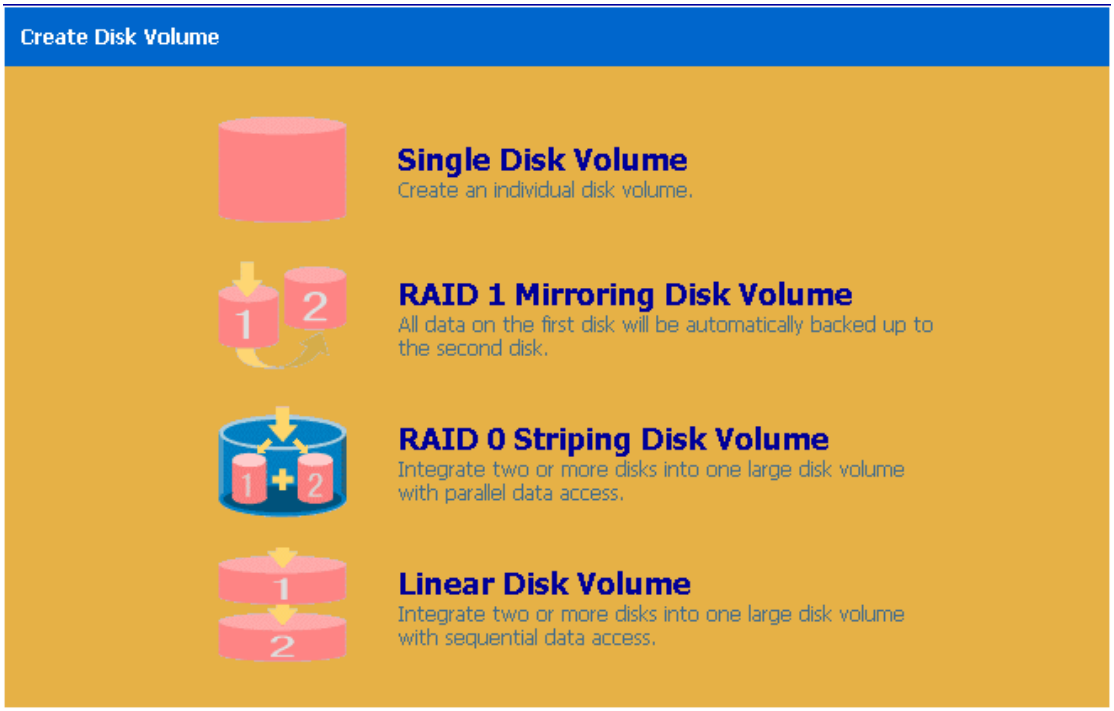
WAN Configuration	
Connection Type	DHCP
IP Address	10.8.12.37
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	10.8.12.1
MAC Address	00:08:9B:5F:4F:5E
DNS	10.8.2.11 10.8.2.11
Connection Status	Ready
LAN Configuration	
IP Address	192.168.1.254
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	0.0.0.0
MAC Address	00:08:9B:5F:4F:5D
DHCP Service	
Enabled	Yes
Address Range	192.168.1.100-192.168.1.200
Lease Time	1 Day(s) 0 Hour(s)
NAT function	
Enabled	Yes

4.5.4 ディスク設定

VioStor-220 はハードディスク 2 台を搭載できます。ディスク・ボリュームの作成ページでディスク設定を行います。



4.5.4.1 ディスク･ボリュームの作成



✓ 単独ディスク･ボリューム

ハードディスクが 1 台の時、このメニューを選択します。ディスクが破損した時は全てのデータが失われます。

✓

✓ RAID 1ディスク･ボリューム

ディスクの片方をバックアップに用い、ミラーリングを行うことでデータを保護します。データの保存容量はディスク 1 台分で、2 台目のディスクは 1 台目のディスクのバックアップとして用いられます。ミラーリングは重要なデータを保存する時に有効です。

✓ RAID 0ディスク･ボリューム

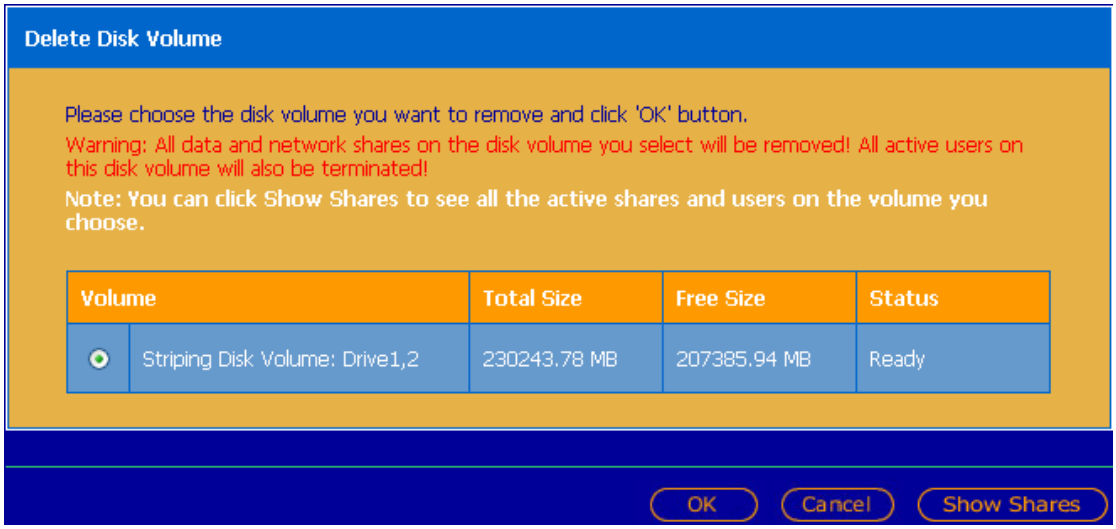
2 台のディスクを 1 台のディスクと見なし、2 台のディスクに分散してデータを保存します。ディスクへのアクセスは高速ですが、データの保護機能はありません。データの保存容量は、容量の小さいディスク×2 になります。RAID0 ディスク・ボリュームを選ぶことで最大のディスク容量と高速アクセスが可能になりますが、重要なデータを保存するのには向きません。

✓ リニア･ディスク･ボリューム

2 台のディスクを連結して 1 台のディスクとして認識させます。ディスク容量は 2 台の合計になりますが、データ保護機能はありません。リニア・ディスク・ボリュームは大容量の扱いに向いていますが、重要なデータの保存には向いていません。

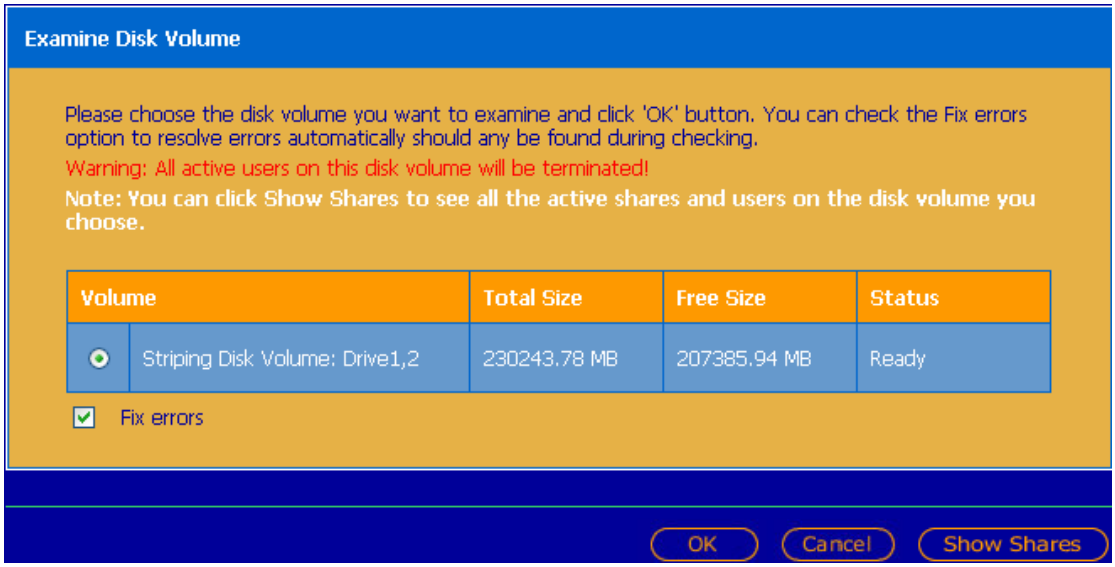
4.5.4.2 ディスク･ボリュームの削除

ディスク・ボリュームを削除する時は、該当するボリュームを選択して［OK］を押します。



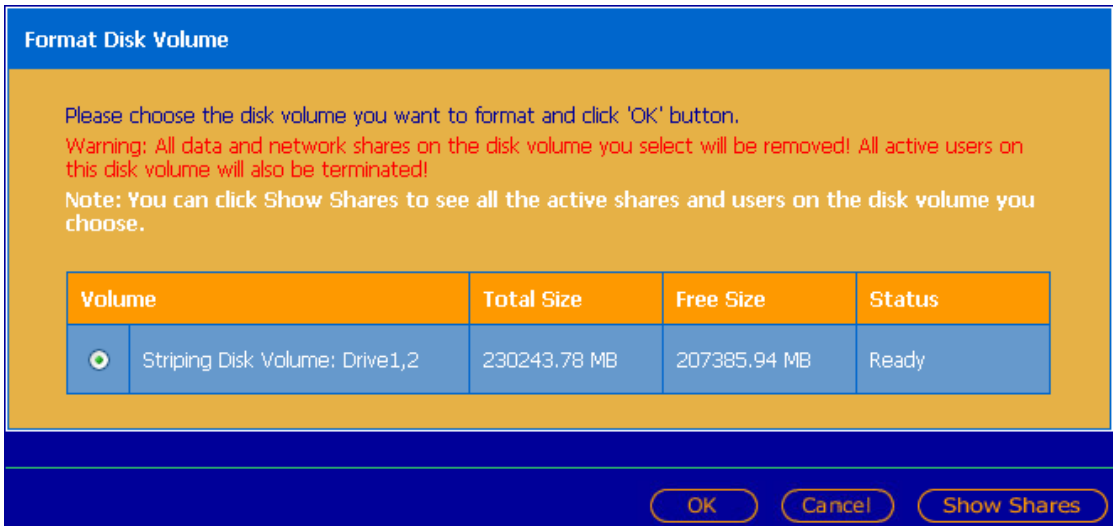
4.5.4.3 ディスク･ボリュームの検査

ディスク・ボリュームを検査する時は、該当するボリュームを選択して［OK］を押します。［エラーを修復します］にチェックを入れておけば、検査中に発見したエラーを自動で修復します。



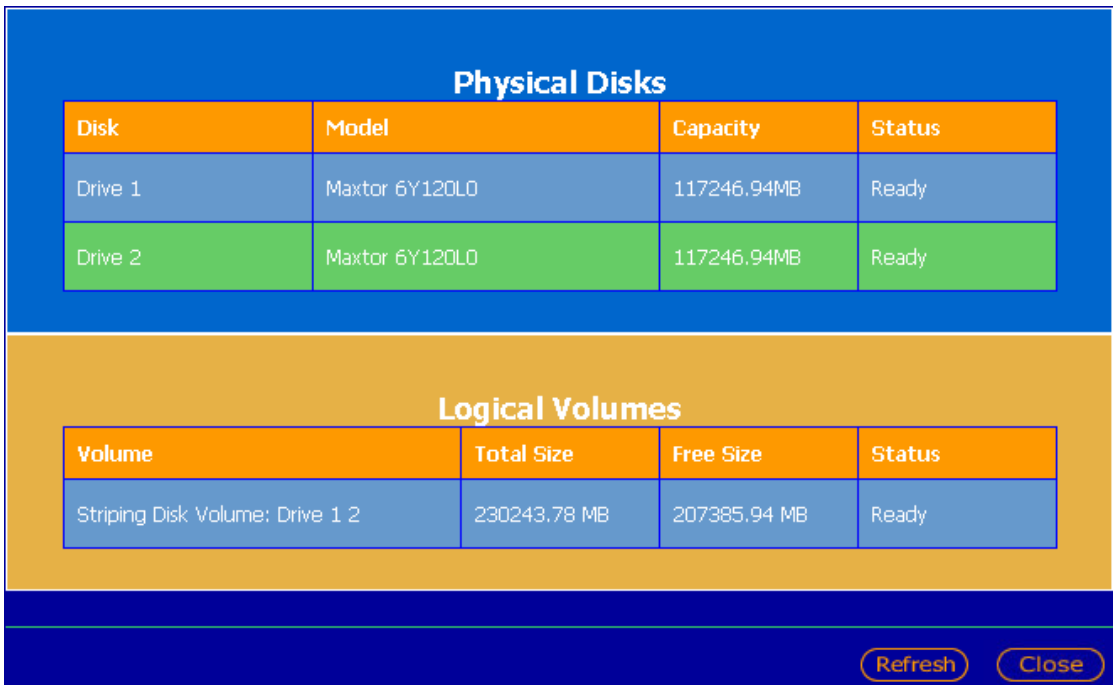
4.5.4.4 ディスク･ボリュームのフォーマット

ディスク・ボリュームをフォーマットする時は、該当するボリュームを選択して［OK］を押します。



4.5.4.5 ディスク･ボリューム情報の表示

ディスク・ボリュームの物理的・論理的状態の表示を行います。



4.5.5 ユーザー管理

ユーザー管理ページでは、ユーザーやユーザー・グループの設定を行えます。またユーザーごとのディスク容量制限やユーザー設定の保存、修復なども行えます。

4.5.5.1 ユーザー

初期設定で以下のユーザーが登録されています。

a. Administrator
   Administrator（管理者）は administrator group のメンバーであり、システム管理を行う権限を持ちます。Administrator を削除することはできません。

b. Guest
   登録されていないユーザー名を使って VioStor-220 にログインしようとする時、そのユーザーは Guest（ゲスト）として扱われ、限定的なアクセスしか行えません。Guest はどのユーザー・グループにも属しません。また Guest を削除することはできません。

c. Anonymous
   FTP で VioStor-220 にアクセスする際、Guest でログインすることが可能です。Anonymous（匿名）を削除することはできません。

以下の方法でユーザーを新規作成できます。

i. ユーザー名
   ユーザー名は最大 32 文字（半角文字のみ）です。以下の記号をユーザー名で使用することはできません。
   " / \ [ ] : ; | = , + * ? < > ` '

ii. パスワード
   パスワードは最大 16 文字です。安全性を考慮し、6 文字以上でパスワードを作成することを推奨します。

ユーザー管理ページでは、さらに以下のユーザー設定を行えます。

I. ユーザー作成

ユーザーを新規作成します。

II. 複数ユーザー作成

2 人以上のユーザーを新規作成します。

III. パスワード変更

ユーザーのパスワードを変更します。

IV. 専用ネットワーク共有の作成

ユーザーの専用ネットワーク共有を作成します。

V. ユーザー・グループ割り当て

ユーザーが属するユーザー・グループを割り当てます。

VI. NFS 設定

VioStor-220 にアクセスするユーザーの NFS（network file system）設定を行います。

VII. 容量制限設定

ユーザーごとに使用できるディスク容量を制限できます。

VIII. ユーザー削除

VioStor-220 からユーザーを削除します。

4.5.5.2 ユーザー･グループ

ユーザー・グループを作成し、そのグループにユーザーを割り当てることができます。工場出荷時の設定では、次のユーザー・グループが設定されています。

a. Administrators
   Administrators グループに属するユーザーは、システム管理を行う権限を持ちます。このグループを削除することはできません。
b. Everyone
   登録された全てのユーザーは Everyone グループに属します。このグループを削除することはできません。

ユーザー・グループに対して、以下の設定を行えます。

I. ユーザー・グループの作成
II. 専用ネットワーク共有の作成
III. ユーザーの割り当て
IV. ユーザー・グループの削除

ユーザー・グループの名称は最大 256 文字です。全角文字、及び以下の記号を使用することはできません。

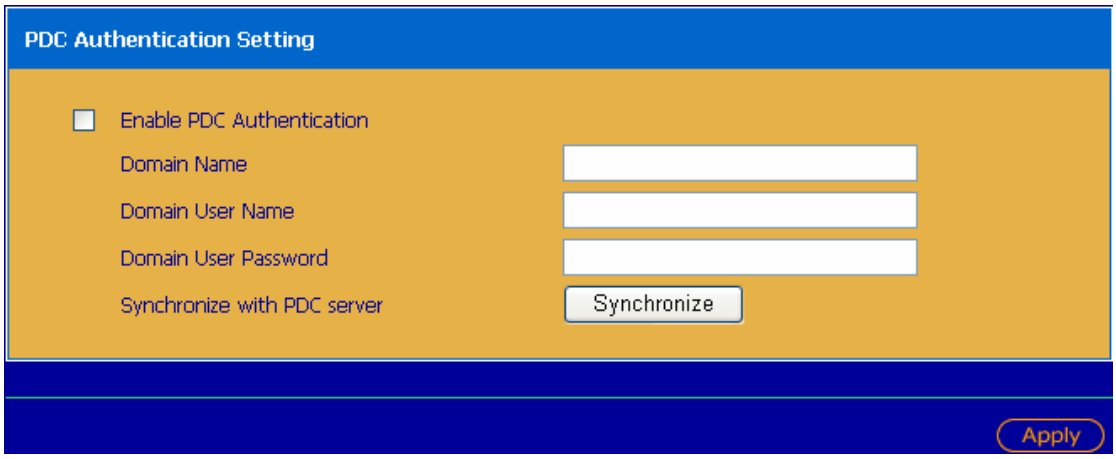
" / \ [ ] : ; | = , + * ? < > ` '

4.5.5.3 PDC認証設定

ネットワーク上にドメイン・セキュリティを行っている Windows PDC（Primary Domain Controller）サーバーがある時、VioStor-220 に登録しているユーザーとグループ全てを再入力する必要はありません。PDC 認証を有効にすれば、VioStor-220 は NT ドメインに接続し、全てのユーザーとグループの情報を自動で取得します。

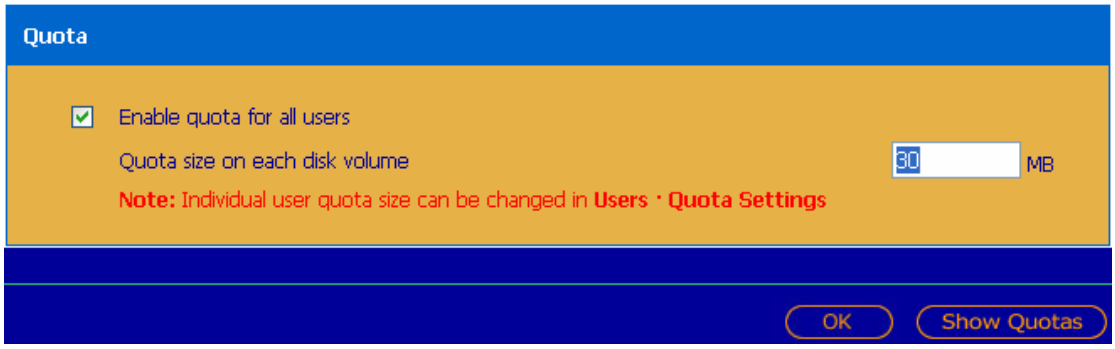
PDC 認証を有効にするために、登録済みのドメイン名、ユーザー名、パスワードを入力します。VioStor-220 はこのユーザー名とパスワードを使って NT ドメインにログインし、ユーザー及びグループの情報を取得します。

注意：NetWare ユーザーは PDC サーバー経由で認証できません。NetWare ユーザーが認証を必要とする時は、［ユーザー管理］［ユーザー］［パスワード変更］ページでパスワードを変更してネットワークに再ログインし、新しいパスワードを有効にします。



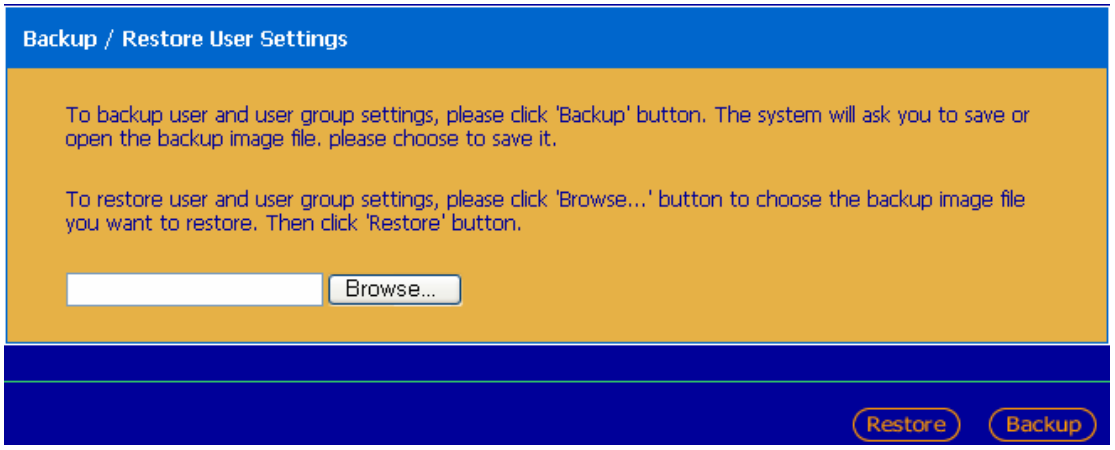
4.5.5.4 容量制限の設定

各ユーザーが使用できるディスク容量を設定できます。[容量制限の設定] をクリックして設定します。



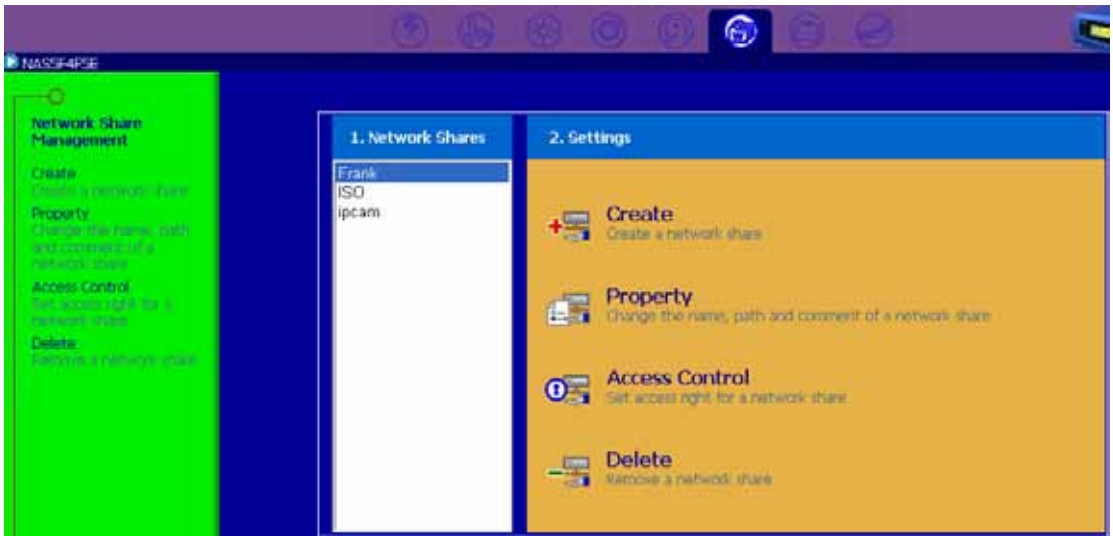
4.5.5.5 ユーザー設定のバックアップ／復元

全てのユーザー設定をコンピューターにバックアップすることができます。またバックアップ・ファイルを使って VioStor-220 のユーザー設定を復元することができます。[参照] ボタンを押して復元するバックアップ・ファイルを選択してください。



4.5.6 ネットワーク共有設定

VioStor-220 にネットワーク共有フォルダを作成することができます。共有フォルダは、アクセス権を持つ全てのユーザーが使用できます。



ネットワーク共有のオプションは次の通りです。

a. ネットワーク共有の作成
b. ネットワーク共有の名称、パス、コメントの変更
c. ネットワーク共有へのアクセス権の設定
d. ネットワーク共有の削除

必要に応じてネットワーク共有を作成することができます。以下の情報を入力します。

✓ ネットワーク共有名

ネットワーク共有名は最大 12 文字です。全角文字及び以下の記号を使用することはできません。

" . + = / \ : | * ? < > ; [ ] %

✓ ディスク・ボリューム

ネットワーク共有は、特定のディスク・ボリュームに作成されます。

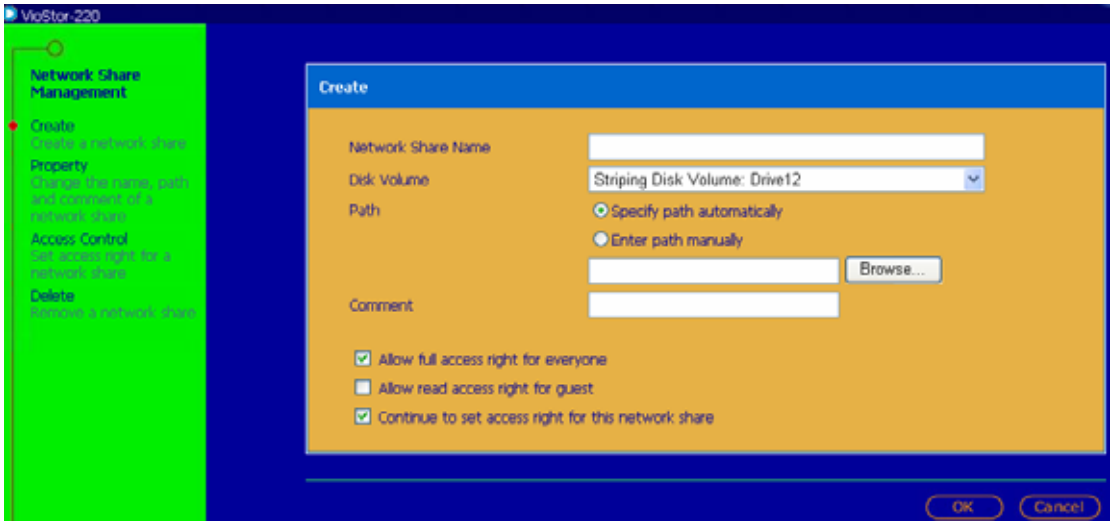
✓ パス

ネットワーク共有のパスを記述します。自動的にパスを指定することも、手動でパスを指定することもできます。手動でパスを指定する場合、入力できる文字は 256 文字までで、以下の記号を使用することはできません。

" \ : | * ? < > ; ` '

✓ コメント

共有フォルダの説明を、最大 128 文字まで記述できます。



作成したネットワーク共有へのアクセス権を持つユーザー、ユーザー・グループを設定します。

✓ フル・アクセス

ネットワーク共有内の全てのディレクトリとファイルの参照、修正を行えます。

✓ 読み込みのみ

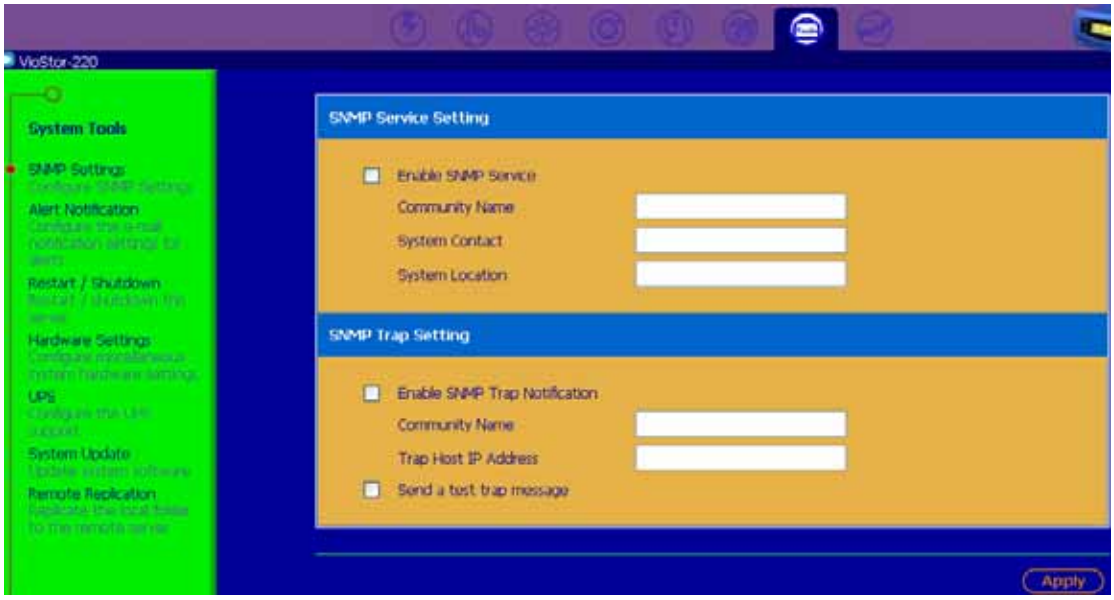
ネットワーク共有内の全てのディレクトリとファイルを参照することができます。しかし修正は行えません。

✓ アクセス拒否

指定されたユーザー、ユーザー・グループはネットワーク共有にアクセスすることができません。

4.5.7 システム･ツール

システム・ツール・ページで、VioStor-220 のメンテナンスと管理を行います。SNMP 設定、アラート通知、ハードウェア設定、UPS、リモート・レプリケーションの他、再起動、シャットダウン、システムのアップデートなどを行えます。



4.5.7.1 SNMP設定

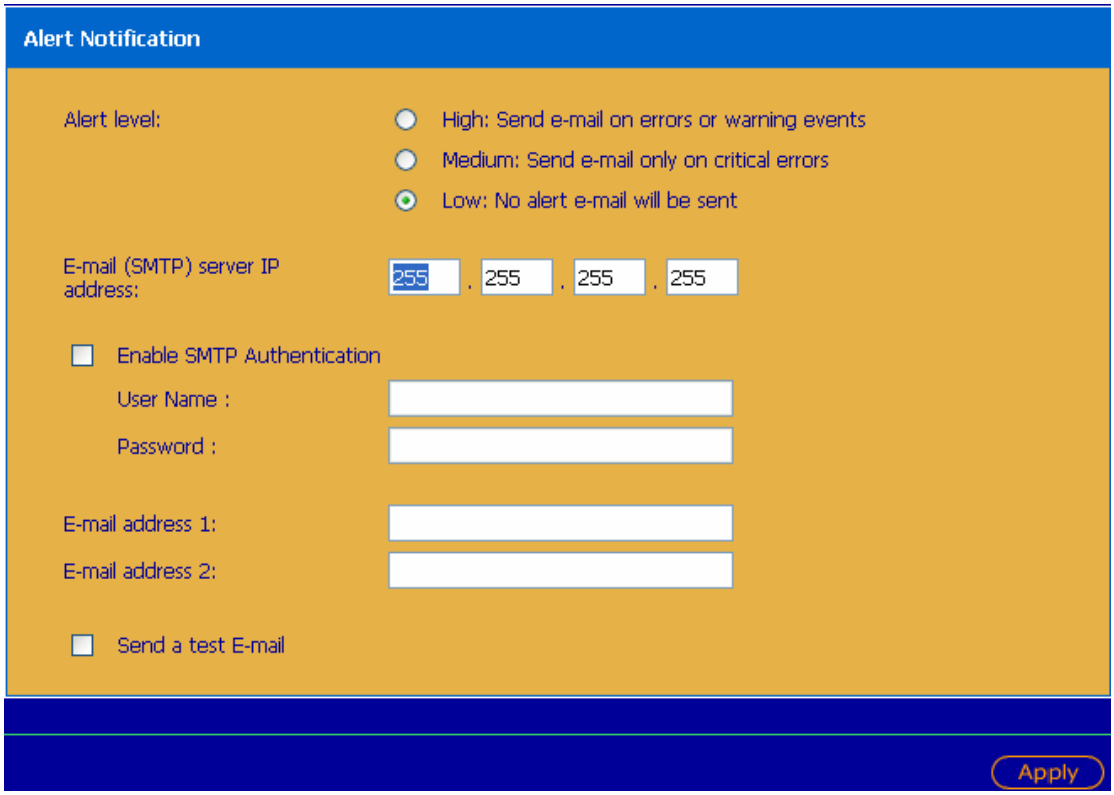
SNMP（Simple Network Management Protocol）サービスを有効にできます。SNMP サーバーに必要な情報を入力します。 SNMP とラップ設定を有効にすることにより、エラー発生時にメッセージを通知することが可能になります。

4.5.7.2 アラート設定

管理者の e メールアドレスと SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。CPU のファンが作動しない、ハードディスクを認識しなくなった、プラグが抜けたなど、異常事態が発生すると e メールが管理者に送信されます。統計＆ログの［イベント・ログ］（Chapter 4.5.8.2 参照）を参照することで、何が原因で異常事態が発生したかを確認できます。

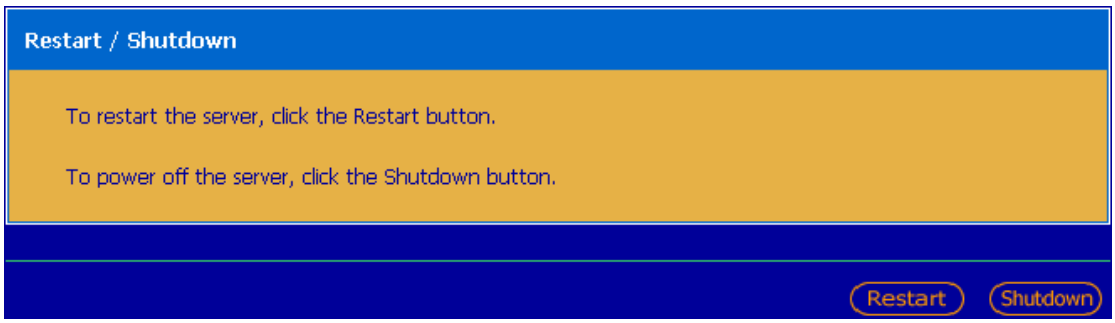
メールサーバーが SMTP 認証を必要とする場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

> **注意**:実際に運用する前に、アラート・メールが送信されるかどうかを確認してください。



4.5.7.3 再起動／シャットダウン

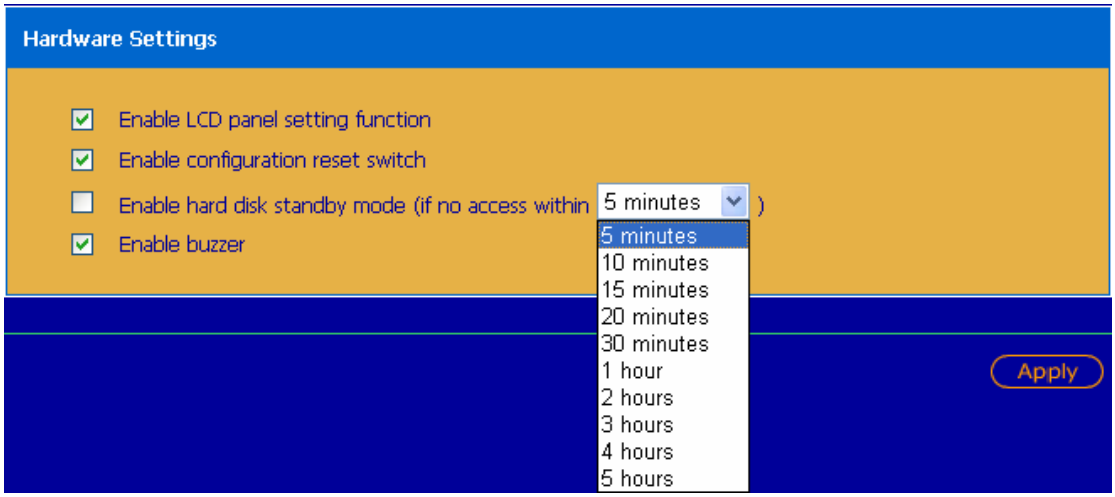
VioStor-220 の再起動／シャットダウンを行います。



4.5.7.4 ハードウェア設定

VioStor-220 のハードウェア機能を有効／無効にできます。

a. LCD パネル設定を有効にする
   LCD パネルのボタンを使って TCP/IP 設定を可能にします。
b. パスワード・リセット・スイッチを有効にする
   パスワード・リセット・スイッチを 5 秒間押し続けると、管理者パスワードとネットワーク設定が工場出荷時の状態に戻ります。
c. ハードディスクのスタンバイ・モードを有効にする
   指定した時間の間、ハードディスクへのアクセスがなかった時、スタンバイ・モードへ移行します。
d. ブザーを有効にする
   ブザーを有効にすると、エラーが発生した時にブザーが鳴ります。



4.5.7.5 UPS

UPS（Uninterruptible Power Supply）サポートを有効にすることで、停電などの際にシステムを保護することができます。システムは接続している UPS の状態を確認し、電力供給が低下すれば自動でシャットダウンを行います。

✓ UPSサポートを有効にする

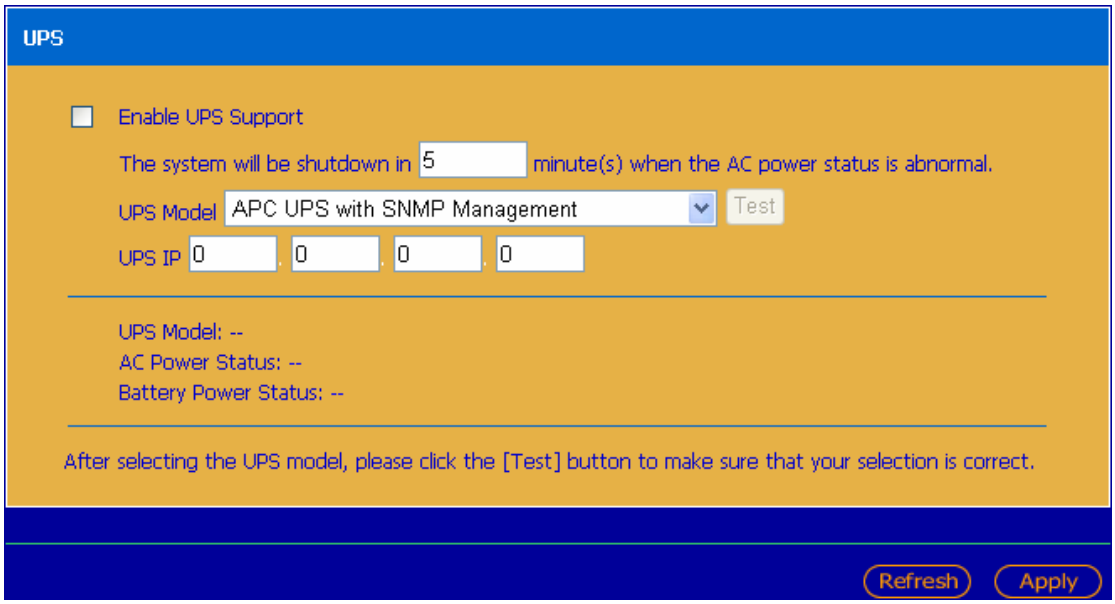
UPS サポートを有効にする時は、このオプションを使用します。AC 電源の異常を検知して何分後に自動でシャットダウンするかを設定します。UPS の性能、接続している機器によりますが、通常 UPS から電力が供給されるのは 5～10 分間です。

UPSモデル

UPS のモデルをリストから選択します。お使いの UPS がリストにない時はテクニカル・サポートにお問い合わせください。

UPS IP

選択した UPS が［APC UPS with SNMP for UPS］の時、UPS の IP アドレスを入力します。



4.5.7.6 アップデート

ファームウェアのアップデートを行う前に、製品モデルとファームウェアのバージョンが間違っていないか確認してください。次の手順でアップデートを行います。

Step1：ファームウェアのバージョンと同じリリース・ノートR.O.Dのwebサイト（http://rodweb.jp/）からダウンロードします。注意事項を確認した上でファームウェアのアップデートを行います。

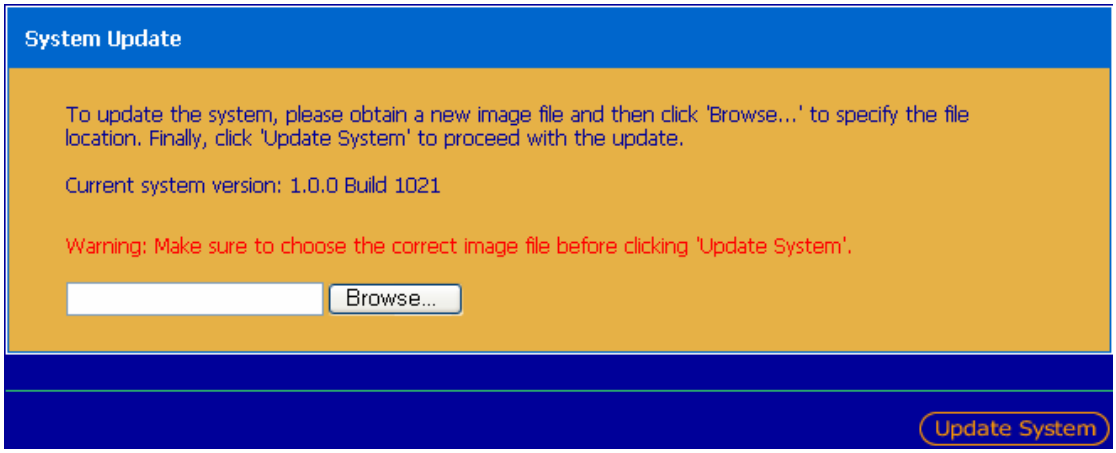
Step2：アップデート中にファイルが失われることを避けるため、VioStor-220 に保存している全てのデータのバックアップを取ります。

Step3：［参照］ボタンをクリックして、ファームウェア・ファイルを選択します。［システムのアップデート］をクリックします。

システムのアップデートは、ネットワークの状態によって数十秒から数分かかります。完了するまでお待ちください。アップデートが完了したら、メッセージが表示されます。

注意：

1. システムが正常に稼動している時は、アップデートの必要はありません。.
2. アップデートが失敗したことによって発生したいかなる障害に対して、保証することはできません。

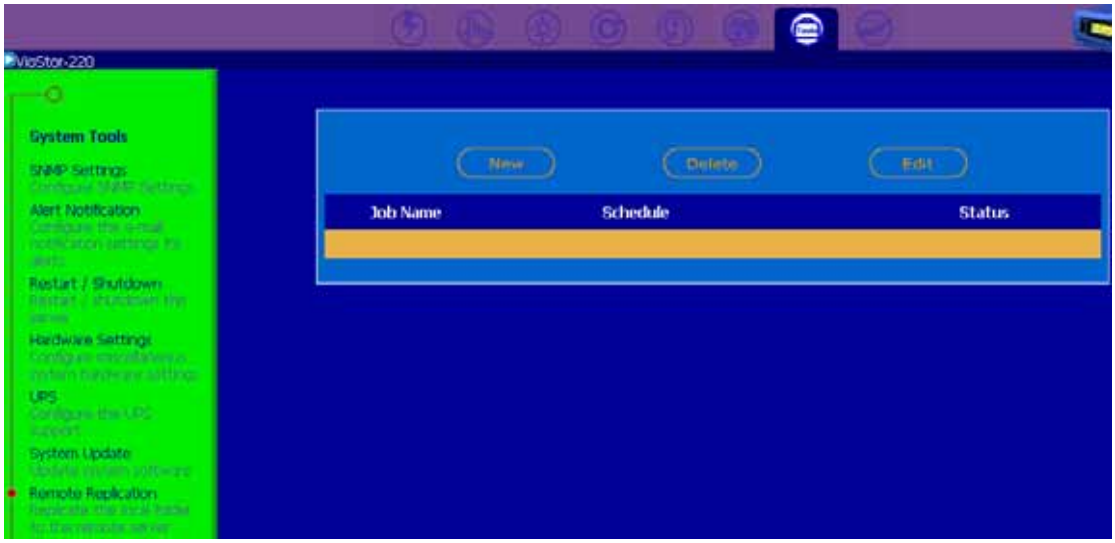


4.5.7.7 リモート･レプリケーション

リモート・レプリケーション機能により、VioStor-220 内のデータを別のサーバーへ転送できます。転送時間を短縮するため、ファイルは圧縮されます。

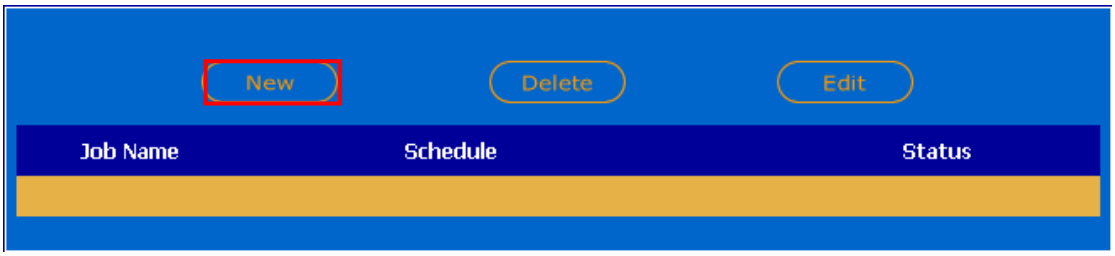
> 注意:リモート・レプリケーション機能を使用するには、Microsoft ネットワークを有効にしておく必要があります。リモート・レプリケーションのタスクを作成する前に、ネットワーク共有を作成しておきます。

リモート･レプリケーションの使用

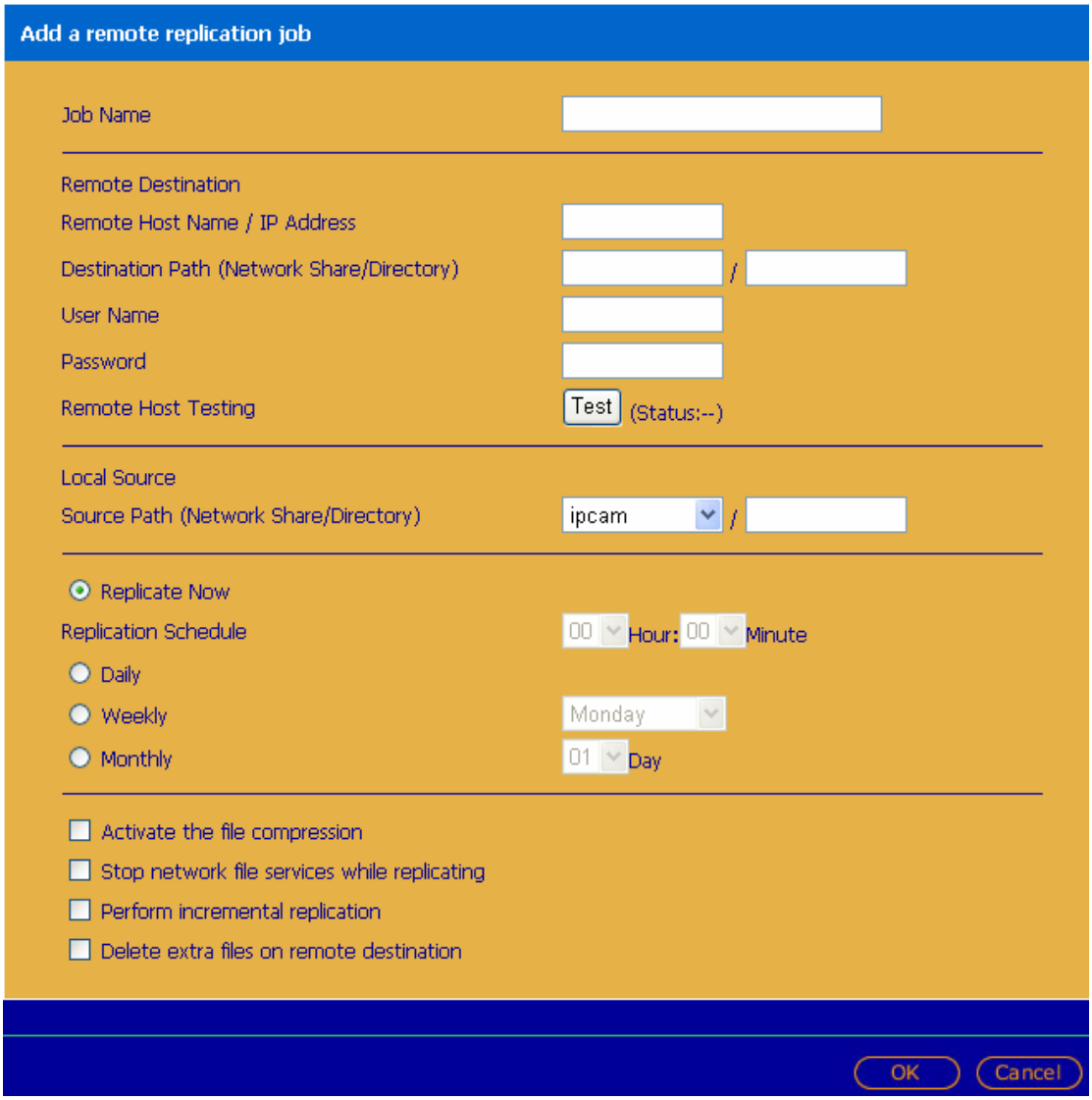


i. 新規作成

a. ［新規作成］をクリックします。



b. 必要な情報を全て入力して［OK］を押します。



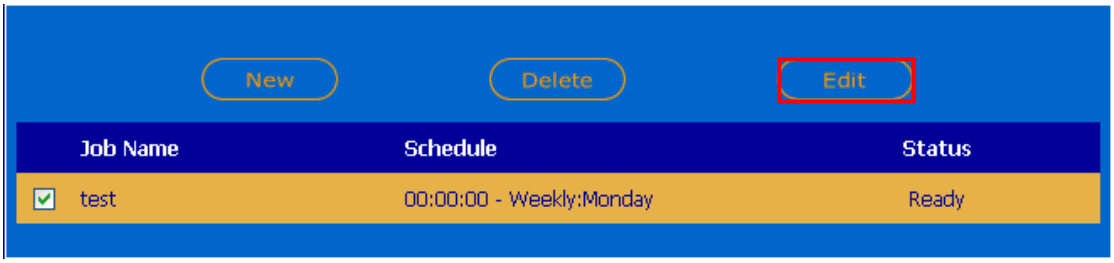
ii. 編集

a. 作成済みのタスクを選択します。

b. [編集]をクリックします。

c. 設定内容を変更します。

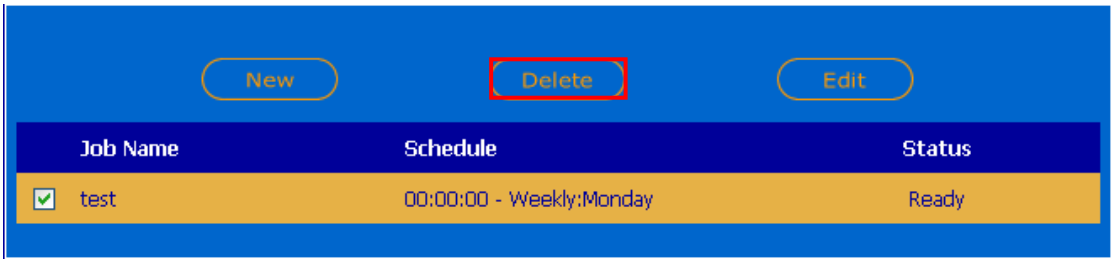
d. ［OK］または［キャンセル］をクリックします。



iii. 削除

a. 作成済みのタスクを選択します。

b. ［削除］をクリックします。

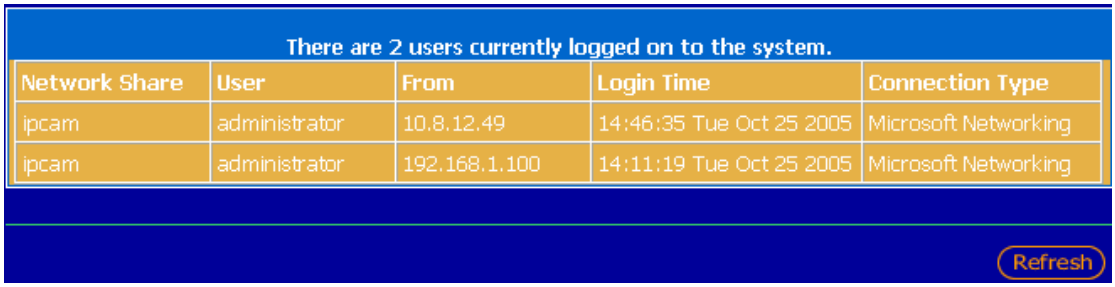


4.5.8 統計＆ログ

現在、VioStor-220 にログインしているユーザーの情報やイベント・ログ、DHCP ログを参照できます。

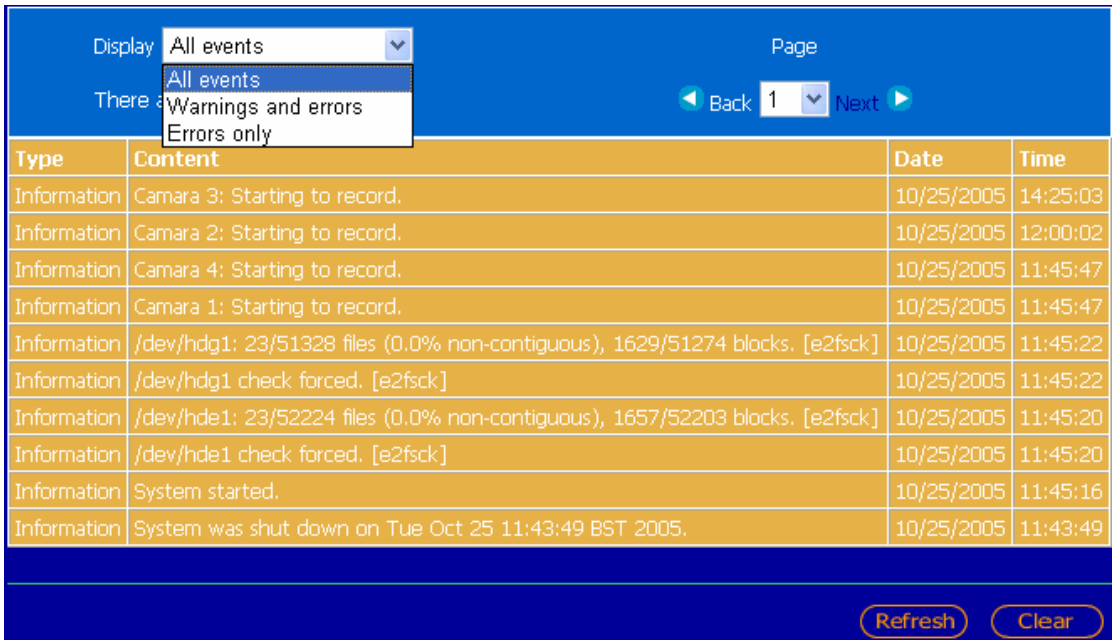
4.5.8.1 ユーザー情報

Microsoft ネットワーク共有でログインしているユーザーを表示します。



4.5.8.2 イベント･ログ

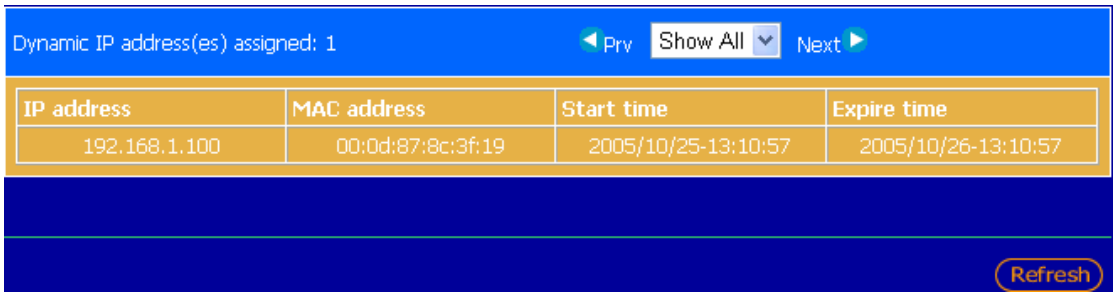
イベント・ログ・ページで、全ての警告、エラー、メッセージを確認できます。システムの調子が悪いとき、ログを調べることで問題を分析できます。



Type	Content	Date	Time
Information	Camara 3: Starting to record.	10/25/2005	14:25:03
Information	Camara 2: Starting to record.	10/25/2005	12:00:02
Information	Camara 4: Starting to record.	10/25/2005	11:45:47
Information	Camara 1: Starting to record.	10/25/2005	11:45:47
Information	/dev/hdg1: 23/51328 files (0.0% non-contiguous), 1629/51274 blocks. [e2fsck]	10/25/2005	11:45:22
Information	/dev/hdg1 check forced. [e2fsck]	10/25/2005	11:45:22
Information	/dev/hde1: 23/52224 files (0.0% non-contiguous), 1657/52203 blocks. [e2fsck]	10/25/2005	11:45:20
Information	/dev/hde1 check forced. [e2fsck]	10/25/2005	11:45:20
Information	System started.	10/25/2005	11:45:16
Information	System was shut down on Tue Oct 25 11:43:49 BST 2005.	10/25/2005	11:43:49

4.5.8.3 DHCPログ

DHCP サービスが有効な時、アサインされている IP アドレス、クライアントの MAC アドレス、その他の情報を確認できます。



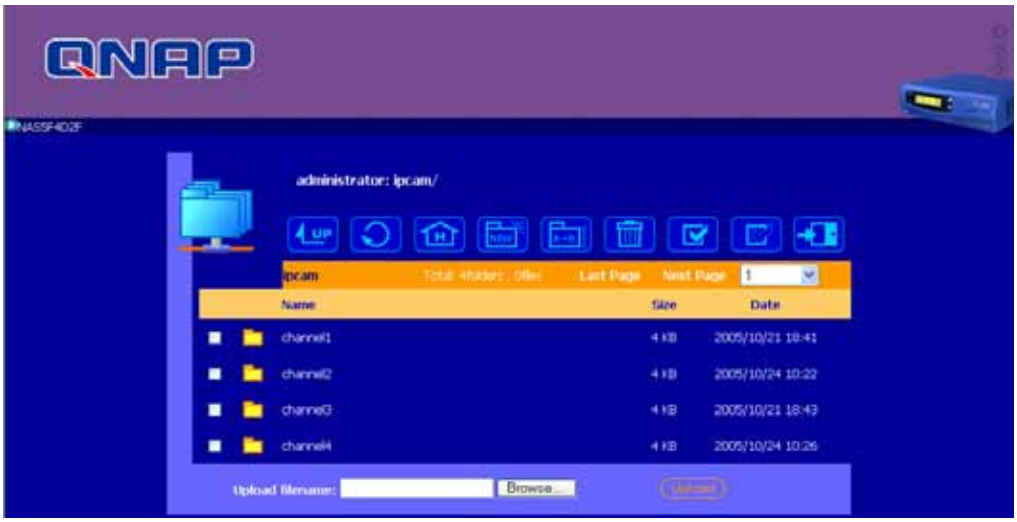
IP address	MAC address	Start time	Expire time
192.168.1.100	00:0d:87:8c:3f:19	2005/10/25-13:10:57	2005/10/26-13:10:57

Chapter 5. VioStor-220へのフォルダ･アクセス

5.1 録画ファイル･マネージャー

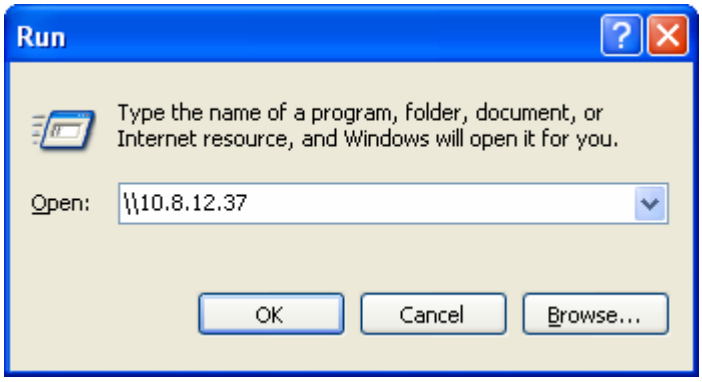
VioStor-220 に保存された録画ファイルにアクセスするには、ライブ画面の［フォルダ・アクセス］をクリックするか、各カメラの このアイコンをクリックします。［フォルダ・アクセス］をクリックすると、全てのカメラの録画フォルダにアクセスします。 このアイコンをクリックした時は、該当するカメラの録画フォルダに直接アクセスします。

ファイル・マネージャーにより録画フォルダ、録画ファイルにアクセスできますファイル・マネージャーの詳細については Appendix A を参照してください。



5.2 Microsoft Windows

1. Windows OS の機能を用いることで、以下の方法で VioStor-220 にアクセスできます。
   a. ［マイネットワーク］［近くのコンピュータ］で VioStor-220 を検索します。VioStor-220 の名前をダブルクリックしてアクセスします。
   b. ［マイネットワーク］［検索］で VioStor-220 を検索します。Windows ME、Windows 2000 では以下の手順を踏みます。
      i. ［マイネットワーク・プレース］を開きます。
      ii. ［検索］をクリックします。
      iii. VioStor-220 の名前を入力します。
      iv. ［検索］をクリックします。
      VioStor-220 が見つかったら、ダブルクリックしてアクセスします。
   c. ［ファイル名を指定して実行］で\\［サーバー名］または \\［サーバーの IP］を入力して VioStor-220 の共有フォルダにアクセスします。



注意：VioStor-220 は録画ファイルの保存用に［ipcam］という共有フォルダを使用します。この共有フォルダは絶対に削除しないようにしてください。

Chapter 6. VioStor-220のメンテナンス

VioStor-220 は連続運用を前提とし、また停電によるシステム障害に備えて設計されています。本章では、システムの一般的なメンテナンスについて解説します。

6.1 再起動／シャットダウン

VioStor-220 の再起動／シャットダウンは以下のように行います。

1. VioStor-220 にアクセスしているユーザーは、ファイルの保存を行い、VioStor-220 との接続を解除します。
2. 管理ページに入り、［システム・ツール］の［再起動／シャットダウン］を選択します。
3. ［再起動］をクリックするとシステムがリブートし、［シャットダウン］をクリックするとシステムは終了します。この作業は LCD パネルでも行えます。

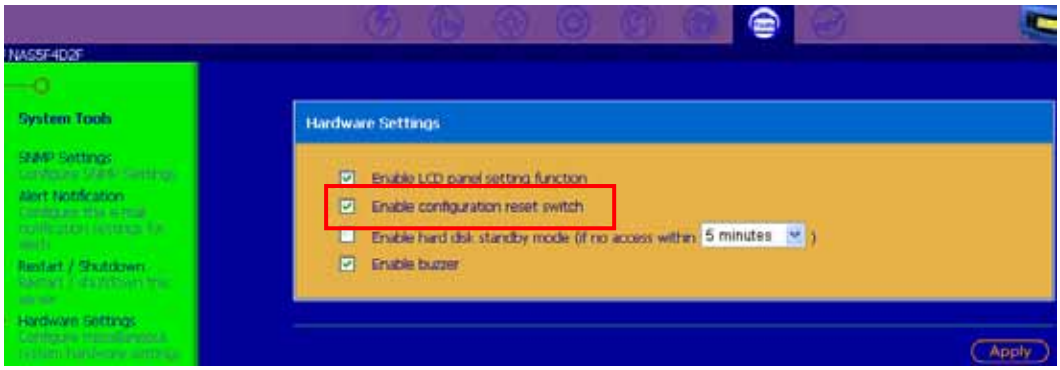
6.2　管理者パスワード＆ネットワーク設定のリセット

管理者パスワードを忘れると、VioStor-220 の管理ページにログインすることができず、一切の設定が行えなくなります。その場合、管理者パスワードとネットワーク設定を工場出荷時の値にリセットすることで対処できます。

VioStor-220 背面のリセット・スイッチを 5 秒間押し続けます。VioStor-220 が再起動し、以下のユーザー名とパスワードでログインが可能になります。

Default user name: **administrator** Password: **admin**

注意:背面のリセット・スイッチを有効にするためには、［ハードウェア設定］の［リセット・スイッチを有効にする］にチェックを入れておく必要があります。



6.3 ディスク障害

ディスク障害が発生した時は、次の手順に従ってください。

1. ［統計＆ログ］の［イベント・ログ］でエラー・メッセージの内容を確認します。
2. VioStor-220 をシャットダウンします。
3. テクニカル・サポートに連絡してください。

> 注意：VioStor-220 の修理は専門技術を有するため、分解・修理は行わないでください。ディスク損傷による破損・損失を防ぐため、重要なデータは必ずバックアップをお取りください。

6.4 停電／不正なシャットダウン

停電または不正なシャットダウンが起こると、システムは再起動後に自動的に修復します。システムが正常に起動しない時は、次の手順に従ってください。

1. システム設定をリセットします。
2. それでもエラーが発生する時は、テクニカル・サポートにご連絡ください。

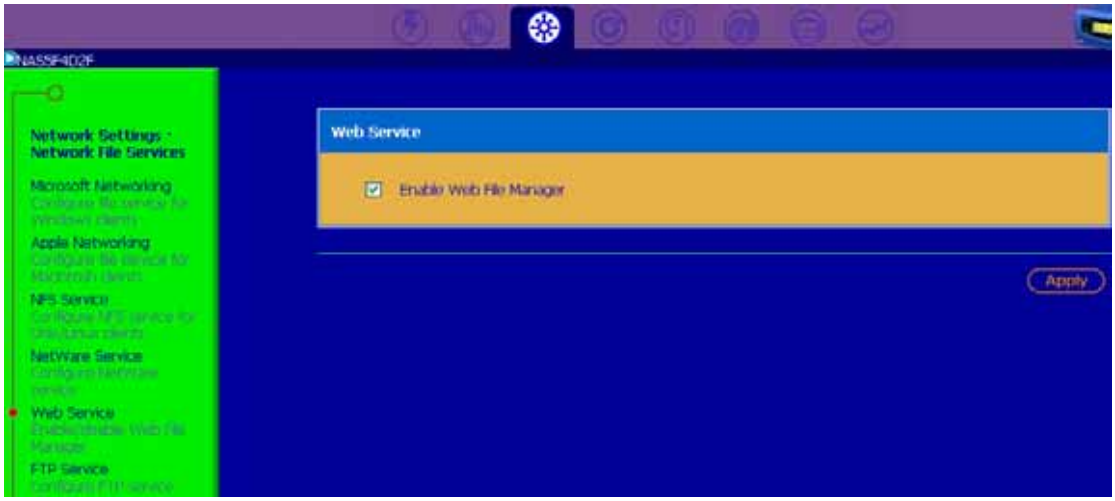
上記の問題を避けるため、重要なデータはバックアップを取り、また以下の点に注意してください。

- 必ず Chapter 6.1 に従って再起動、シャットダウンを行ってください。
- 停電が予定されている時は、重要なデータをバックアップし、あらかじめ VioStor-220 をシャットダウンしてください。

> 注意：データの大量消失を避けるため、定期的なバックアップをお勧めします。

Appendix A.　録画ファイル･マネージャー

重要:録画ファイル・マネージャーは、［ネットワーク設定］［NAS サービス］［web サービスを有効にする］にチェックが入っている時のみ有効です。



VioStor-220 はオンラインでネットワーク共有を使用することができます。フォルダ内のファイルの保存、名前の変更、削除を行えます。録画ファイル・マネージャーには次の機能があります。

ファイルの参照

ファイル名をクリックすることでファイルを参照できます。ブラウザの設定に従って、ファイルは開きます。ファイル・フォーマットにブラウザが対応していない時は、ファイルをダウンロードしてから開くことができます。

フォルダの作成

a. ツールバーの このアイコン（フォルダ作成）をクリックします。

b. フォルダの名前を入力し［OK］をクリックします。

ファイル名の変更

a. フォルダまたはファイルを選択します。

b. ツールバーの このアイコン（名前の変更）をクリックします。

c. フォルダまたはファイルの新しい名前を入力して［OK］をクリックします。

ファイル、フォルダの削除

a. ファイルまたはフォルダを選択します。

b. ツールバーの このアイコン（削除）をクリックします。

c. ポップアップ・ウィンドウが表示されたら［OK］をクリックします。

表示されている全てのファイル、フォルダを削除する時は、 このアイコン（全てを選択）をクリックして このアイコン（削除）をクリックします。

ファイルのアップロード

a. ［参照］をクリックしてアップロードするファイルを選びます。

b. ［アップロード］をクリックします。

ファイルのダウンロード

i. 右クリックして［対象をファイルに保存］を選択します。

ツールバーの このアイコン（ログアウト）をクリックすると録画ファイル・マネージャーからログアウトします。

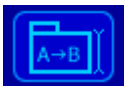
録画ファイル･マネージャーで使用するアイコン

1 つ上のフォルダへ

再読み込み

共有フォルダ・リストの親ページへ

新規フォルダの作成



ファイル、フォルダの名称変更

ファイル、フォルダの削除

全てを選択

全ての選択を解除

録画ファイル・マネージャーからのログアウト

フルアクセス権を持つネットワーク共有フォルダ

読み込みのみの権利を持つネットワーク共有フォルダ

アクセス権を持たないネットワーク共有フォルダ

Appendix B.　ダイナミックＤＮＳの登録

VioStor-220は以下のダイナミックDNSサービスをサポートしています。ダイナミックDNS機能を使用する前に、ドメイン名、ユーザー名、パスワードを取得してください。

- ✓ DynDNS (http://www.dyndns.org/)
- ✓ ODS (http://update.ods.org/)
- ✓ DHS (http://www.dhs.org/)
- ✓ DyNS (http://www.dyns.cx/)

DDNS 機能を有効にすることで、ISP から新しい WAN IP アドレスが付与されると、VioStor-220 は自動で DDNS サーバーの登録情報を更新します。

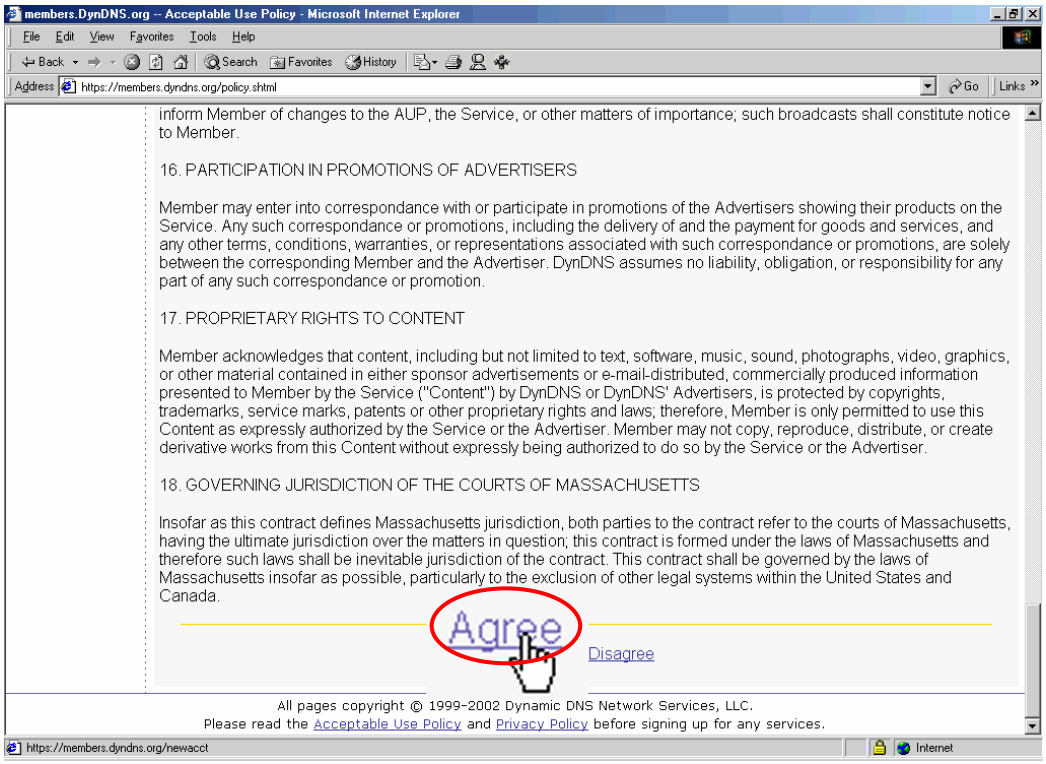
登録の方法

以下の方法でダイナミック DNS の登録を行えます。DynDNS を例に挙げます。

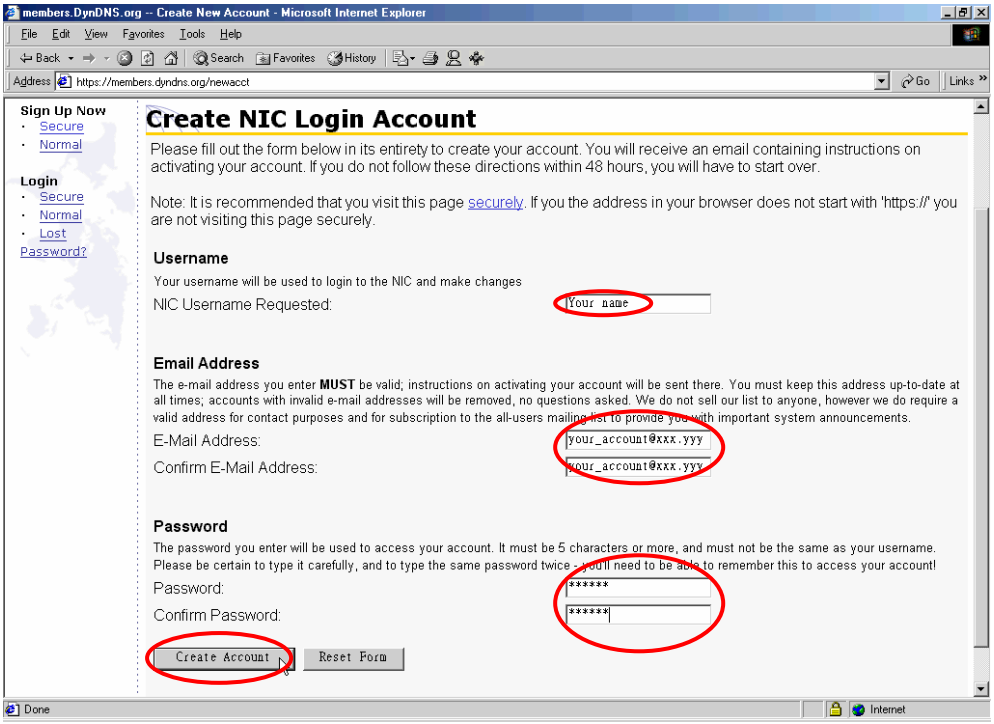
> 注意:以下はあくまで参考です。詳細は web サイトの指示に従ってください。また、回線監視サービスのついた「NC ネット」サービスもあります。詳しくは販売店にお尋ねください。

a. ブラウザを起動してhttp://www.dyndns.org/にアクセスします。「Sign Up Now」をクリックして登録手順に従います。

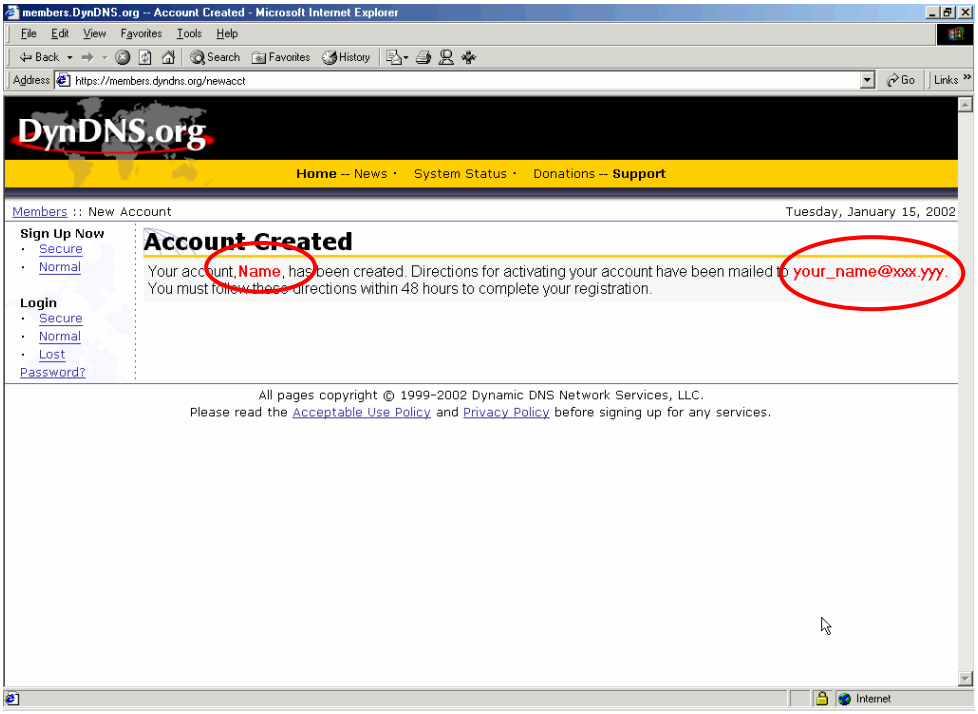
b. サービス内容に合意したら「Agree」をクリックします。



c. ユーザー名、e メールアドレス、パスワードを入力して DDNS サービス・アカウントを取得します。VioStor-220 の DDNS 設定ページでは、ここで入力したユーザー名とパスワードを使用します。「Create Account」をクリックします。



d. アカウントが正しく作成されれば、前項で入力した e メールアドレスに認証の通知が届きます。48 時間以内に認証してください。



e. 認証手続きが完了すると、新しいページが表示され、登録したアカウント名が有効になります。web ページの指示に従い、ドメイン名を登録することができます。